医療社会を未来する——
大研医器株式会社

高度管理医療機器　特定保守管理医療機器

一般的名称	患者管理無痛法用輸液ポンプ 汎用輸液ポンプ
医療機器承認番号	30100BZX00245000
販売名	クーデックエイミー
製造販売業者	大研医器株式会社 大阪府和泉市あゆみ野 2-6-2
製造番号	ドライブユニット画面のサブメニューから[バージョン]をタップし確認してください。

エイミーズウィンドウ PCA
取扱説明書

この度はクーデックコムタッチ CCT-100 を

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エイミーズウィンドウ PCA をご使用の際には、

必ずこの取扱説明書をお読みいただき、

お取り扱いくださいますようお願い致します。

最新の取扱説明書は弊社 Web ページからダウンロードできます。

COOPDECH

ソフトウェア利用許諾契約

大研医器株式会社（以下、「弊社」）は、以下の条件でエイミーズウィンドウ PCA CAA-W100-A（以下、「本ソフトウェア」）の使用を許諾します。

第１条（著作権）　本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは、日本及びその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

第２条（権利の許諾）　お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、弊社製品クーデックエイミーPCA CAP-100 に対して利用することを目的としてのみ、お客様の汎用端末に搭載された記憶装置に本ソフトウェアをインストールし、使用することができます。

２　お客様は、本ソフトウェアをバックアップ又は保存の目的においてのみ複製することができますが、この場合を除いては本ソフトウェアの複製は一切できません。

第３条（制限事項）　お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。

２　お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアを全部又は一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

３　お客様には本ソフトウェアを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトウェアを第三者に配布、販売、貸与又はリースすることはできません。

第４条（保証、責任の制限）　弊社は、本ソフトウェア及びソフトウェア利用許諾契約の欠陥により発生する直接、間接、特別又は必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があると告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

第５条（契約期間）　本契約は、お客様が本ソフトウェアをダウンロードし、又はお客様の記憶装置にインストール、又は、使用された時点をもって発効し、次条によって終了されない限り有効に存続するものとします。

第６条（契約の終了）　お客様は、本人の意思でいつでも本同意書を終了させることができますが、その場合には、弊社に対して書面をもって終了通知を成し、かつ、本同意書に基づくソフトウェアの全部及び一部の複製物の全てを破棄する必要があります。

２　お客様が本契約のいずれかの条項に違反した時は、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。なお、本契約が終了した時には、お客様は直ちにお客様の記憶装置に保存されている本ソフトウェアを破棄するものとします。

第７条（仕様変更）　本ソフトウェアは予告なく仕様・内容・対価等を変更することがあります。

第８条（準拠法）　本契約の準拠法は、日本法とします。

第９条（管轄裁判所）　本契約に関する一切の訴訟は、大阪地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

目次

はじめにお読みください 5
安全上の注意 5
製品概要 5
最新ソフトウェアの入手方法 5
動作環境 6
端末の推奨仕様 6
推奨機種 6
無効もしくはアンインストールするアプリ 6
接続機器 7
注意 7
製品構成 8
携帯端末の基本操作方法及び用語 10
エイミーズウィンドウのダウンロードとインストール 12
基本画面 12
ドライブユニット画面 13
設定画面 17
持続投与画面 18
間欠投与画面 19
プログラム投与画面 20
各種ピッカーダイアログ 21
予定量ピッカー 21
流量/ドーズ/間欠投与量ピッカー 21
ロックアウトタイム/間欠投与間隔/時間ピッカー 21
日時ピッカー 22
使用方法 23
エイミーズウィンドウを起動する 23
ホーム画面から起動する 23
コムタッチを接続して起動する 23
ドライブユニット状態を確認する 24
ボーラス履歴を確認する 24
ドライブユニットの詳細情報を確認する(持続投与モード、間欠投与モード) 26
ドライブユニットの詳細情報を確認する(プログラム投与モード) 27
輸液設定を行う 28
ドライブユニットを操作する 29
準備 29
プライミングする 29
輸液を開始する 30
輸液を停止する 30
積算量をクリアする 30

単回投与する 30
スタンバイモードにする 31
電源をオフにする 31
輸液の設定を変更する 32
エイミーズウィンドウを終了する 33
Android の機能でエイミーズウィンドウを終了する 33
ログアウトボタンでエイミーズウィンドウを終了する 34
自動終了 34
エイミーズウィンドウをワンタッチで表示する 35
その他の使用方法 36
持続投与 36
投与時間を使用する 36
間欠投与 37
間欠投与を詳細に設定する 38
プログラム投与 40
チャートの確認 43
プログラムの削除 43
プログラムの移動 44
プログラムのインポート 44
薬液交換機能を使用する 46
転送履歴 47
看護記録 48
看護記録を残す 48
看護記録の履歴を確認する 50
輸液チャート 51
動作履歴の保存 52
履歴確認 53
履歴確認(リスト)画面 54
履歴確認(チャート)画面 55
マーク履歴を使用する 56
最大投与回数を使用する 57
閉塞圧レベルを確認する 58
他のドライブユニットに輸液設定をコピーする 58
ソフトウェアバージョンの表示 59
ヘルプの表示 59
初期状態に戻す 59
連携 ID 61
バーコードを使用して設定する 61
キーボードで設定する 62
拡張アプリ連携 62
看護記録連携を使用する 62
エイミーズ DB マネージャとの連携 63

ログイン機能 63
パスワードを入力してログインする 64
ID カードを利用してログインする 64
利用者 ID を利用してログインする 65
ユーザ権限 66
投与薬の指定 68
薬リストから選択する 68
バーコードを使用して選択する 69
プリセット機能 70
プリセットリストから選択する 70
バーコードを使用して選択する 71
各種機能の設定切替 73
設定切替権限の取得 73
パスワード変更 74
パスワード変更方法 74
コントローラ設定 75
コントローラ設定一覧 75
設定の切替 79
コントローラ名の変更 80
データベース連携設定の切替 80
ログイン機能の切替 81
薬液交換設定の切替 82
ペインスケール種別の切替 82
有効にする投与モードの切替 83
新規設定の切替 83
バーコードリーダ設定の切替 84
輸液完了通知設定の切替 86
履歴設定の切替 87
操作制限（巡回権限）設定の切替 88
連携 ID 設定の切替 89
拡張アプリ連携設定の切替 89
自動スリープの切替 90
ドライブユニット画面表示 90
ドライブユニット設定 92
ドライブユニット設定一覧 92
設定の切替 95
ドライブユニット名の変更 96
明るさの切替 96
操作音量の切替 96
プライミングの積算量反映 96
閉塞圧検出レベル（持続）の切替 97
閉塞圧検出レベル（ボーラス）の切替 97

閉塞注意報レベルの切替 98
気泡検出レベルの切替 98
警報音量の切替 98
音量段階アップの切替 98
ボイスナビ音量の切替 99
おやすみモードの切替 99
警報及び注意報が発生した場合 100
高優先度アラーム 100
閉塞警報（輸液ラインが閉塞した時） 100
気泡警報（輸液ラインに気泡が混入した時） 101
完了警報（積算量が予定量に到達した時） 101
ポンプ異常警報（ポンプに異常が発生した時） 102
シャットダウン警報（バッテリ残量がなくなった時） 102
低優先度アラーム 103
操作忘れ警報（一定時間操作していない時） 103
完了前警報（プログラム投与の際、輸液完了が近付いた時） 104
ポンプロック検出警報（輸液中に[ロック]レバーのロックが解除された時） 104
バッテリ残量警報（バッテリ残量が少なくなってきた時） 104
注意報 105
完了前注意報（予定量の輸液完了が近付いた時） 105
閉塞注意報（輸液ラインの内圧が上がっている時） 105
アンインストール 106
トラブルシューティング 108

はじめにお読みください

安全上の注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

注意　この表示欄は「誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性、又は物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

製品概要

エイミーズウィンドウPCA（以下、エイミーズウィンドウ）は携帯端末（スマートフォン等）にインストールして使用するAndroid™専用アプリケーションです。
エイミーズウィンドウでクーデックエイミーPCAのドライブユニットを操作し、情報を確認することができます。

この取扱説明書では推奨携帯端末である SH-M15 での動作を例に説明しています。携帯端末、OS バージョンの違い、又は環境設定の違いにより、表示や操作方法等が、記載と異なる場合があります。携帯端末の操作方法詳細に関しては、携帯端末の取扱説明書を確認してください。
※本書においては「エイミーズ DB マネージャ PCA」を「エイミーズ DB マネージャ」と表記しています。

最新ソフトウェアの入手方法

ソフトウェアダウンロードページより、最新のソフトウェアをダウンロードしてご利用いただけます。
詳細については以下の URL にアクセスし、内容を確認してください。
　https://amydl.coopdech.com
※URL 及び掲載内容については、予告なしに変更することがあります。

動作環境

端末の推奨仕様

以下の仕様を満たす携帯端末を使用してください。

項目	仕様
デバイス仕様	IEC60950-1 規格適合相当品
	VCCI、IEC61000-4 規格適合相当品
	画面解像度　1920×1080 以上
	USB ホスト機能（OTG 機能）搭載※１
	RAM 容量 3GB 以上
	(NFC 搭載※２)
	(Bluetooth 搭載※３)
	(カメラ解像度　1300 万画素以上※４)
ストレージ容量	100MB 以上の空き容量があること
対応 OS	Android 7.1、8.0、8.1、9、10、11、12、13、14、15

※１　USB ホスト機能のオン/オフを切り替えられる携帯端末をご利用の場合は、USB ホスト機能をオンにしてから使用してください。
※２　NFC が搭載されていない携帯端末では ID カードによるログイン機能が動作しません。
※３　Bluetooth が搭載されていない携帯端末では外部バーコードリーダによるバーコード読み取り機能が動作しません。
※４　カメラ機能は、バーコードの読み取りに使用します。指定解像度を満たさない場合は、読み取りができない場合があります。
※　以上の仕様を満たしていても、端末によっては正常に動作しない場合があります。推奨端末以外の携帯端末をコントローラとして使用する場合、必ず事前に動作確認を行ってから使用してください。

推奨機種

- SHARP　SH-M15，SH-M12
- 京セラ　KC-S302，KC-S305，KC-S205

無効もしくはアンインストールするアプリ

[無効にするアプリ]が存在する場合は、アプリ機能を無効にするか、アンインストールしてから使用してください。

推奨機種	[無効にするアプリ]
SH-M15，SH-M12	おサイフケータイアプリ

アプリ機能を無効にする方法

① ホーム画面から[設定アプリ]→[アプリと通知]をタップします。
② [＊個のアプリをすべて表示]をタップし、[アプリ情報]画面で、[すべてのアプリ]の一覧を表示します(＊には数字が入ります)。
③ [サブメニュー]→[システムを表示]をタップし、隠されていたアプリを表示します。
④ 該当のアプリをタップし、アプリ情報を表示します。
⑤ [無効にする]をタップし、アプリの機能を無効にします。
※[無効にする]が表示されない場合があります。その場合、[アンインストール]をタップし、アプリをアンインストールしてください。

※携帯端末の操作方法詳細は、携帯端末の取扱説明書を確認してください。

接続機器

各種機能で使用する接続機器は、以下の仕様を満たす機器を使用してください。

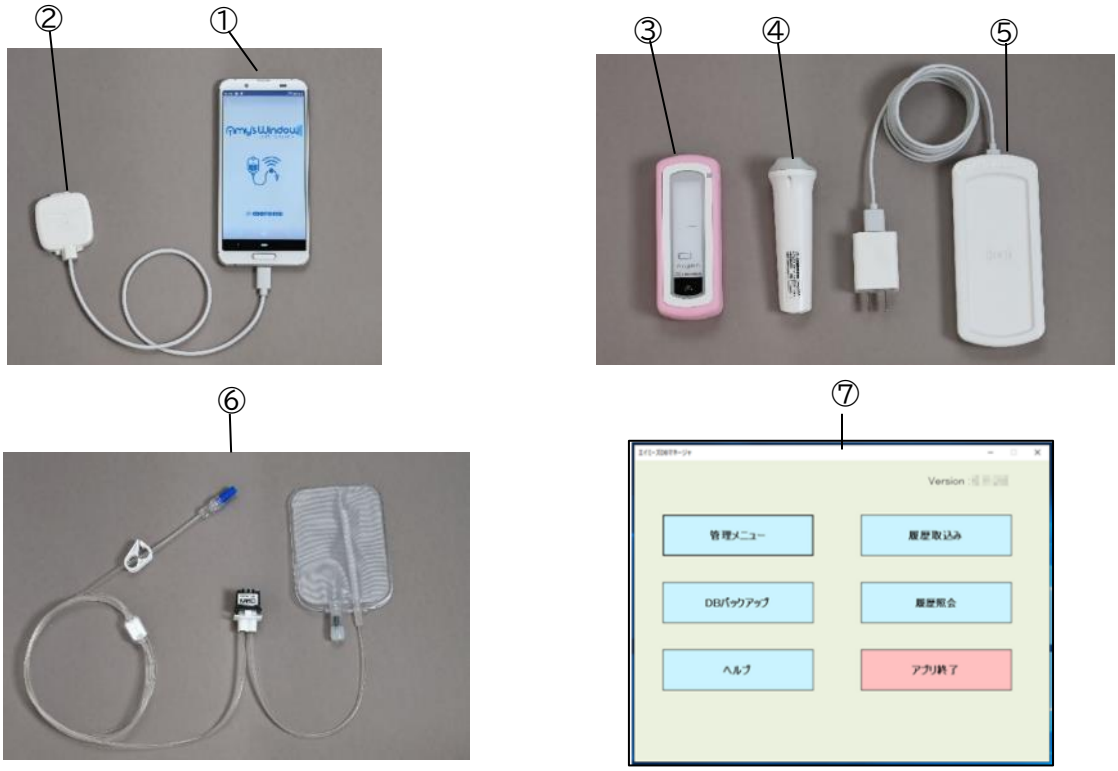
接続機器	仕様
ID カード	FeliCa、MIFARE
外部バーコードリーダ	Bluetooth HID プロファイル対応

注意

(1) 推奨仕様を満たしていても、端末によっては正常に動作しない場合があります。推奨機種以外の携帯端末をコントローラとして使用する場合、必ず事前に動作確認を行ってから使用してください。
(2) コントローラとしてご使用の携帯端末の OS を、対応していない OS バージョンへ更新しないでください。
(3) エイミーズウィンドウは、[無効にするアプリ]をアンインストールした状態で動作確認しています。携帯端末にエイミーズウィンドウ以外のアプリケーションをインストールして使用する場合は、事前に動作確認を行ってから使用してください。
(4) エイミーズウィンドウはインターネットに接続しない状態で動作確認を行っています。インターネット等のネットワークに接続して使用する際は、コンピュータウィルス及び情報漏洩等に十分注意してください。
(5) エイミーズウィンドウは NFC 機能を使用するアプリがインストールされていない状態で使用してください。
(6) エイミーズウィンドウ以外に USB ホスト機能を使用するアプリがインストールされていない状態で使用してください。
(7) 携帯端末の時刻がずれていないか、定期的に確認してください。現在時刻からのずれがある場合、必要に応じて携帯端末の時刻を正しく変更してください。ドライブユニットは輸液設定する時の携帯端末の時刻を基準時刻として動作します。携帯端末の時刻をドライブユニットに反映するにはドライブユニットの電源を入れ直す必要があります。

(8)　看護記録にはフリーテキストをメモとして残す機能がありますが、携帯端末の紛失等に起因する情報漏洩リスクに備え、記載内容には十分注意してください。
(9)　携帯端末は必ず充電してから使用してください。
(10) 携帯端末に保存されている、エイミーズウィンドウのアプリケーション用データを、直接変更又は削除しないでください。エイミーズウィンドウが正常に動作しなくなる場合があります。
アプリケーション用データの保存先は次の通りです。
・保存先：内部共有ストレージ¥Android¥data¥jp.co.daiken_iki.amys_window¥files¥Documents¥DB

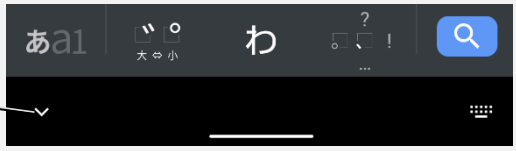
製品構成



	名称	説明
①	コントローラ	エイミーズウィンドウがインストールされた携帯端末です。 ドライブユニットの状態表示及び操作を行うことができます。
②	コムタッチ	コントローラに接続して使用する専用通信モジュールです。 コムタッチをドライブユニットに接続すると、エイミーズウィンドウで操作を行うことができます。
③	ドライブユニット	エイミーMP ユニットを駆動させる装置です。
④	エイミーPCA スイッチ	患者の操作によってボーラス投与を行うことができ

	名称	説明
		るスイッチです。
⑤	エイミーズホーム	ドライブユニットの充電器です。
⑥	エイミーMP ユニット	マイクロポンプ付き輸液セットです。 ドライブユニットによって駆動されることにより、薬液の送液を行います。
⑦	エイミーズ DB マネージャ	PC 用アプリケーションです。 PC とコントローラを USB ケーブルで接続すると、履歴の取得、エイミーズウィンドウが参照するデータベースの登録を行うことができます。

携帯端末の基本操作方法及び用語

操作方法及び用語	
タップ	指先で１回、軽くたたく感じで触れる操作です。 ボタン等のアイテムを操作する時等に使用します。
ダブルタップ	指先で２回、素早くタタンと触れる操作です。
閉じるキー	キーボードを表示している時に、画面の左下に表示されるボタンです。タップすることでキーボードを閉じます。 
ホーム画面	アプリや機能のショートカットが表示されている画面です。 （ホーム画面の例）
フリック	指先で対象アイテムに触れたら、その指先をサッと払う操作です。 ピッカーの選択等に使用します。
スワイプ	指先で画面に触れてから、指先をそのままスライドさせる操作です。画面の切り替えやページのスクロール等に使用します。
ドラッグ	対象アイテムを長押ししてから、指を離さずに目的の場所まで移動させる操作です。
ドラッグ＆ドロップ	対象アイテムを長押ししてから、指を離さずに目的の場所まで移動させ、画面から指を離す操作です。
ピッカー	ドラム形式の選択メニューです。 フリックによって、選択を行います。
ヘッドアップ通知	画面の上部やロック画面上に通知されるメッセージです。

各種アイコン			
Amy's Window	[エイミーズウィンドウアプリ] タップすると、エイミーズウィンドウを起動します。	86%	[バッテリ残量] ドライブユニットのバッテリ残量を表示します。
	[設定アプリ] タップすると、携帯端末の設定アプリを起動します。		[おやすみモード] ドライブユニットがおやすみモード時に点灯します。
	[サブメニュー] タップするとサブメニューを表示します。		[インフォメーション] 詳細な情報を表示します。
	[ログアウト] タップするとエイミーズウィンドウをログアウトします（ログイン機能がオフの場合にはエイミーズウィンドウを終了します）。		[トグルスイッチ] タップすることでオン/オフを切り替えできます。 ：オン ：オフ
	[戻る] タップすると前の画面に戻ります。	—	—

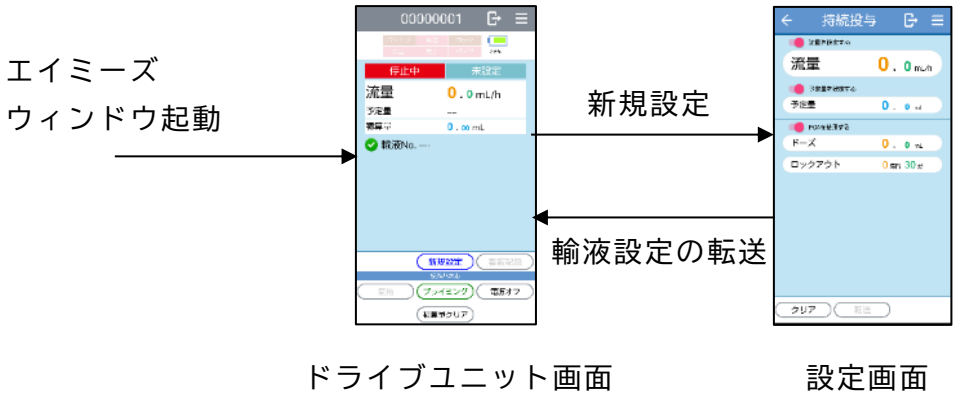
エイミーズウィンドウのダウンロードとインストール

以下の URL にアクセスし、記載の手順に従ってダウンロードとインストールを行ってください。

https://amydl.coopdech.com

基本画面

エイミーズウィンドウの基本画面には、ドライブユニットの状態表示と操作を行うドライブユニット画面と輸液条件の設定を行う設定画面があります。
※エイミーズウィンドウはコムタッチをドライブユニットと接続して使用します。

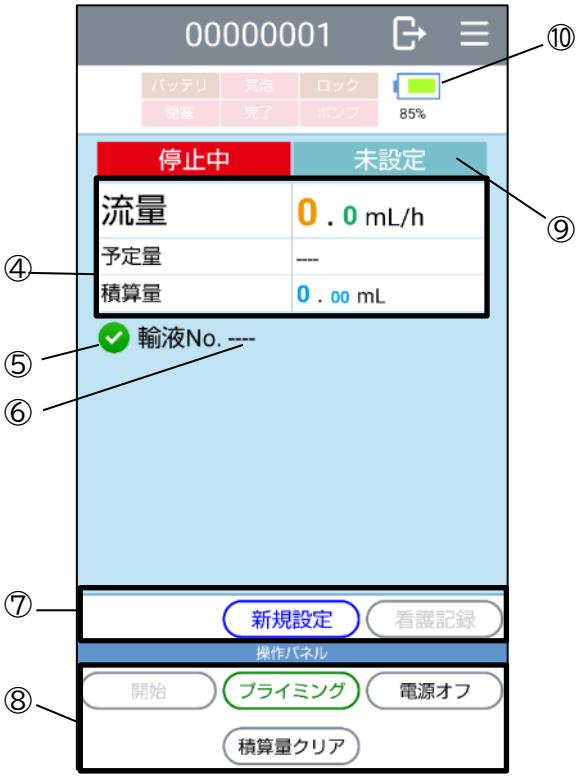


ドライブユニット画面

ドライブユニット画面では、ドライブユニットの状態確認とドライブユニットの操作を行うことができます。詳細は P.24「ドライブユニット状態を確認する」及び P.29「ドライブユニットを操作する」を参照してください。

各部の説明(共通)

番号	内容
①	ドライブユニット名を表示します。
②	ドライブユニットの警報要因及び補足情報を表示します。 ＜高優先度アラーム＞ バッテリ　：バッテリ残量が無い。 気泡　：気泡を検出している。 閉塞　：流路が閉塞している。 完了　：予定量の輸液が完了している。 ポンプ　：ポンプが挿入されていない。 ※警報状態が解除されると消灯します。 ＜低優先度アラーム＞ バッテリ　：バッテリ残量が 30 分未満。 ロック　：ポンプがロックされていない。 完了　：プログラム投与が間もなく完了する。 ※警報状態が解除されると消灯します。 ＜補足情報＞ 気泡オフ　：気泡検出レベルがオフの状態で輸液動作中。 完了　：予定量の輸液が間もなく完了する。 閉塞　：輸液ラインの内圧が上がっている。
③	ドライブユニットの動作の状態を表示します。 停止中：輸液が開始できない状態で停止している。 停止中：輸液が開始できる状態で停止している。 動作中：輸液動作中。 完了：予定量の輸液が完了している。 完了(KVO)：予定量の輸液が完了しており、KVO 動作している。



番号	内容
④	ドライブユニットの輸液の状態を表示します。 ※画面表示は初期状態です。 ※画面に表示する内容を変更できます。詳細は P.90「ドライブユニット画面表示」を参照してください。
⑤	ドライブユニット情報の取得状態を表示します。 ：情報取得が完了していない。 ：情報取得中。　：情報取得済み。
⑥	ドライブユニットの輸液番号を表示します。 輸液設定されていない時は[----]と表示します。
⑦	コントローラを操作するボタンです。
⑧	ドライブユニットを操作するボタンです。
⑨	投与モードを表示します。 輸液設定されていない時は[未設定]と表示します。
⑩	ドライブユニットのバッテリ残量を表示します。

各部の説明（持続投与モード）

番号	内容
①	設定されている流量を表示します。
②	設定されている予定量を表示します。
③	積算量を表示します。 ※設定流量とポンプ駆動時間をもとに算出した値です。
④	PCA スイッチ操作回数を[有効回数/要求回数]として表示します。 PCA が設定されていない場合は表示されません。
⑤	タップすると PCA スイッチ操作の履歴を表示します。 PCA スイッチ操作を一度も行っていない場合は、表示されません。
⑥	詳細情報を表示します。

各部の説明（間欠投与モード）

番号	内容
①	設定されている投与量を表示します。
②	設定されている投与間隔を表示します。
③	次回ボーラス投与までの時間を表示します。
④	設定されている予定量を表示します。
⑤	積算量を表示します。 ※設定流量とポンプ駆動時間をもとに算出した値です。
⑥	PCA スイッチ操作回数を[有効回数/要求回数]として表示します。 PCA が設定されていない場合は表示されません。
⑦	タップすると PCA スイッチ操作の履歴を表示します。 PCA スイッチ操作を一度も行っていない場合は、表示されません。
⑧	詳細情報を表示します。

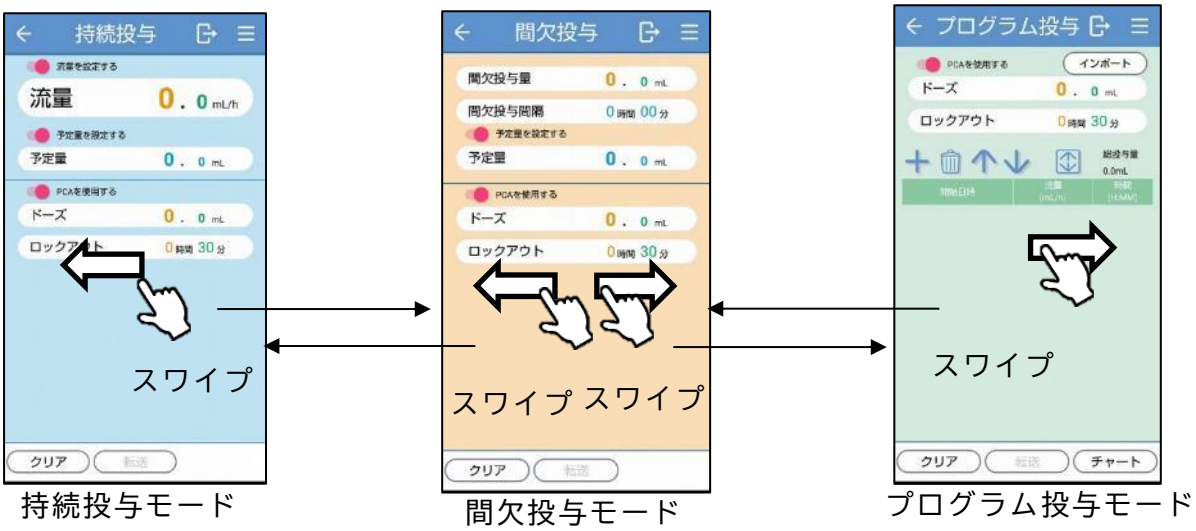
各部の説明（プログラム投与モード）

番号	内容
①	[実行中のプログラム NO/全プログラム数]を表示します。
②	現在実行中のプログラムの流量を表示します。
③	設定された全プログラムの投与量を積算した総投与量を表示します。
④	積算量を表示します。 ※設定流量とポンプ駆動時間をもとに算出した値です。
⑤	PCA スイッチ操作回数を[有効回数/要求回数]として表示します。 PCA が設定されていない場合は表示されません。
⑥	タップすると PCA スイッチ操作の履歴を表示します。 PCA スイッチ操作を一度も行っていない場合は、表示されません。
⑦	詳細情報を表示します。

設定画面

設定画面では輸液条件の設定と、設定内容をドライブユニットに転送することができます。投与モードは持続投与モード、間欠投与モード、プログラム投与モードから選択することができます。
※初期状態では持続投与のみオンとなっています。

オンにする投与モードの変更は、P.83「有効にする投与モードの切替」を確認してください。
投与モードの切り替えは以下のようにスワイプで行います。オンでない投与モードはスキップします。



※画面中央から左右いずれかの端に向かってスワイプしてください（OS のバージョンが Android10 以降の携帯端末で、ジェスチャーナビゲーションが有効になっている場合に、画面端からスワイプすると、「戻る」操作が実行されます）。

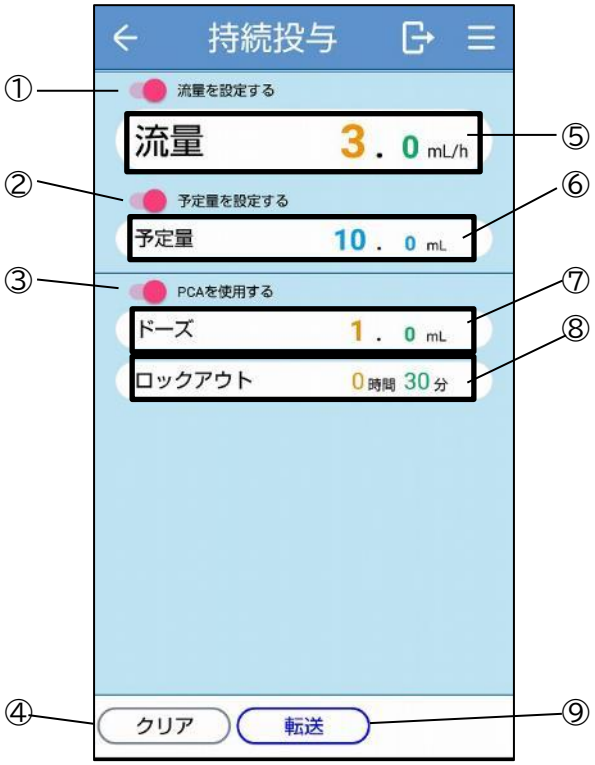
持続投与画面

持続投与の設定を行います。

持続投与モードでは、設定した流量で持続的に輸液を行うことができます。

詳細は P.28「輸液設定を行う」を確認してください。

各部の説明



番号	内容
①	[流量]トグルスイッチ タップすると流量設定のオン/オフの切り替えができます。
②	[予定量]トグルスイッチ タップすると予定量設定のオン/オフの切り替えができます。
③	[PCA]トグルスイッチ タップすると PCA のオン/オフの切り替えができます。
④	本画面の設定をクリアします。
⑤	タップすると[流量]ピッカーを表示し、流量を変更できます。
⑥	タップすると[予定量]ピッカーを表示し、予定量を変更できます。
⑦	タップすると[ドーズ]ピッカーを表示し、PCA ドーズを変更できます。
⑧	タップすると[ロックアウトタイム]ピッカーを表示し、ロックアウトタイムを変更できます。
⑨	ドライブユニットに輸液設定を転送します。

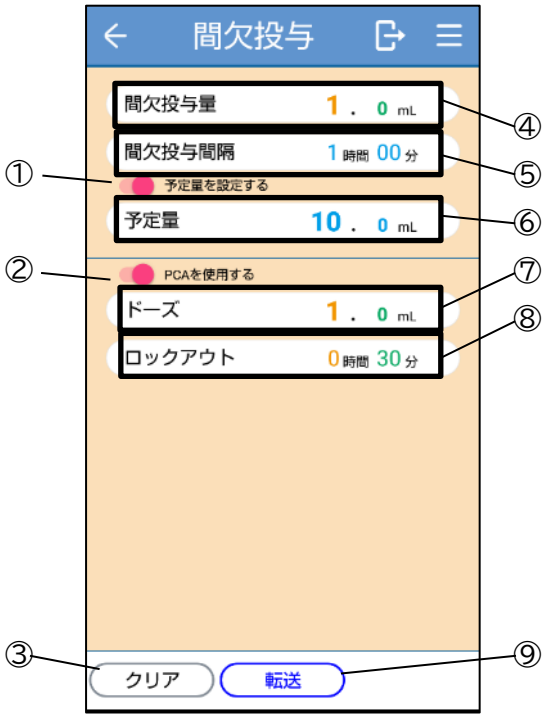
間欠投与画面

間欠投与の設定を行います。

間欠投与モードでは、一定の投与間隔でボーラス投与を行うことができます。

詳細は P.37「間欠投与」を確認してください。

各部の説明



番号	内容
①	[予定量]トグルスイッチ タップすると予定量設定のオン/オフの切り替えができます。
②	[PCA]トグルスイッチ タップすると PCA のオン/オフの切り替えができます。
③	本画面の設定をクリアします。
④	タップすると[間欠投与量]ピッカーを表示し、間欠投与量を変更できます。
⑤	タップすると[間欠投与間隔]ピッカーを表示し、間欠投与間隔を変更できます。
⑥	タップすると[予定量]ピッカーを表示し、予定量を変更できます。
⑦	タップすると[ドーズ]ピッカーを表示し、ドーズを変更できます。
⑧	タップすると[ロックアウトタイム]ピッカーを表示し、ロックアウトタイムを変更できます。
⑨	ドライブユニットに輸液設定を転送します。

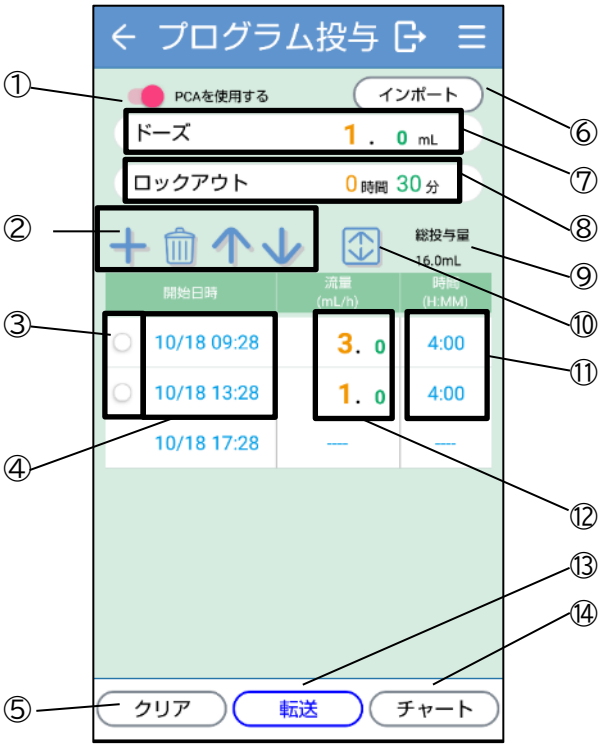
プログラム投与画面

プログラム投与の設定を行います。

プログラム投与モードでは、プログラムごとに流量と投与時間を指定することができます。

詳細は P.40「プログラム投与」を確認してください。

各部の説明



番号	内容
①	[PCA]トグルスイッチ タップすると PCA のオン/オフの切り替えができます。
②	プログラムの追加・削除・移動を行います。
③	タップするとプログラム選択のオン/オフの切り替えができます。
④	タップすると[日時]ピッカーを表示し、プログラム日時を変更できます。
⑤	本画面の設定をクリアします。
⑥	プログラムをインポートします。
⑦	タップすると[ドーズ]ピッカーを表示し、ドーズを変更できます。
⑧	タップすると[ロックアウトタイム]ピッカーを表示し、ロックアウトタイムを変更できます。
⑨	プログラムの総投与量を表示します。
⑩	プログラムリスト領域を拡大します。
⑪	タップすると、[時間]ピッカーを表示し、プログラム時間を変更できます。
⑫	タップすると、[流量]ピッカーを表示し、プログラム流量を変更できます。
⑬	ドライブユニットに輸液設定を転送します。
⑭	プログラムをチャート形式で表示します。

各種ピッカーダイアログ

輸液設定等で、流量やロックアウトタイム等を選択する際に使用するピッカーダイアログの基本操作を説明します。

予定量ピッカー

予定量を選択するピッカーダイアログです。

(1) 各桁を上下にフリックし、数値を選択します。
※数値は上下限値で自動停止します。
(2) [OK]をタップすると決定し、前の画面に戻ります。[キャンセル]をタップするとキャンセルされ、前の画面に戻ります。

流量/ドーズ/間欠投与量ピッカー

流量、ドーズ又は間欠投与量を選択するピッカーダイアログです。

(1) 整数部又は小数部を上下にフリックし、数値を選択します。
※数値は上下限値で自動停止します。
(2) [OK]をタップすると決定し、前の画面に戻ります。[キャンセル]をタップするとキャンセルされ、前の画面に戻ります。

ロックアウトタイム/間欠投与間隔/時間ピッカー

ロックアウトタイム等の時間を選択するピッカーダイアログです。

(1) 時間部又は分部を上下にフリックし、数値を選択します。
※数値は上下限値で自動停止します。
(2) [OK]をタップすると決定し、前の画面に戻ります。[キャンセル]をタップするとキャンセルされ、前の画面に戻ります。

日時ピッカー

プログラム投与の開始日時を選択するピッカーダイアログです。

(1) 年部、月部、日部、時部、分部を上下にフリックし、数値を選択します。

※数値は上下限値で自動停止します。

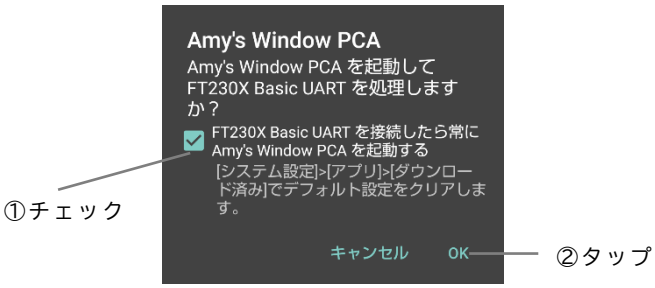
(2) [OK]をタップすると決定し、前の画面に戻ります。[キャンセル]をタップするとキャンセルされ、前の画面に戻ります。

使用方法

エイミーズウィンドウを起動する

ホーム画面から起動する

ホーム画面の[Amy's Window]アイコンをタップすると、エイミーズウィンドウが起動し、画面に表示されます。
※画面にエイミーズウィンドウを表示している時は、携帯端末の自動スリープ機能は動作しません。
※画面にエイミーズウィンドウを表示している状態で 10 分間無操作だった場合は、自動的にエイミーズウィンドウが終了し、携帯端末の自動スリープ機能が有効になります。
※起動時に右に示すような画面が表示された場合は、チェックを入れてから[OK]をタップしてください。
詳細については P.12「エイミーズウィンドウのダウンロードとインストール」を参照してください。



コムタッチを接続して起動する

画面が表示されている携帯端末にコムタッチを接続すると、エイミーズウィンドウが起動します。
初めて接続するコムタッチの場合は、USB デバイスの使用許可を行う必要があります。
詳細は P.12「エイミーズウィンドウのダウンロードとインストール」を確認してください。
※「対応していないドライブユニットです。使用機器の組み合わせを確認してください。」と表示された場合は、エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
※USB ホスト機能のオン/オフを切り替えられる携帯端末をご利用の場合は、USB ホスト機能をオンにしてから使用してください。

ドライブユニット状態を確認する

(1) エイミーズウィンドウが起動していない場合は起動します。
P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください。

(2) コムタッチをドライブユニットに接続し、ドライブユニット画面に状態を表示します。
ドライブユニットの電源がオフの場合、コムタッチを接続すると自動的にドライブユニットは電源オンになります。
表示内容に関しては、P.13「ドライブユニット画面」を参照してください。
※種別の異なるドライブユニットに接続した場合、操作可能なエイミーズウィンドウがインストールされているときは、自動で切り替わります。

ボーラス履歴を確認する

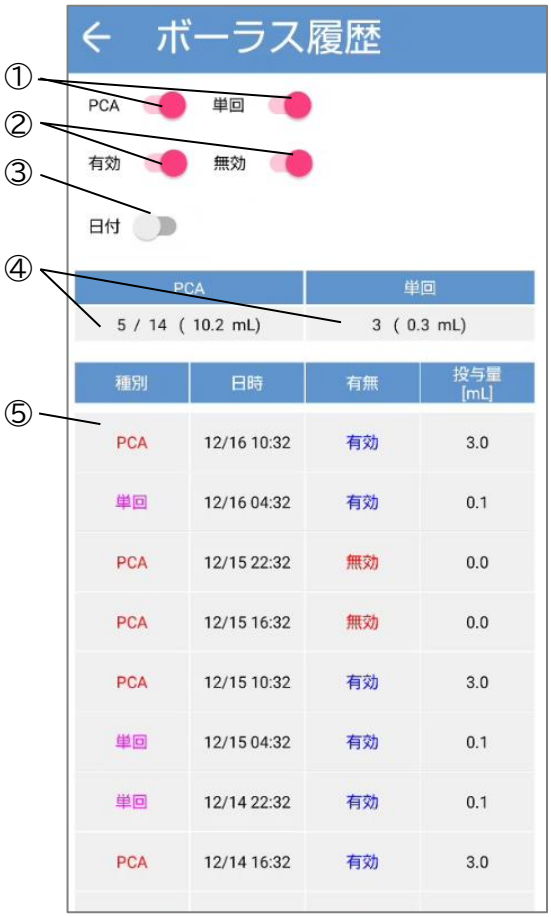
(1) コムタッチを輸液中のドライブユニットに接続し、ドライブユニット画面を表示します。
P.24「ドライブユニット状態を確認する」を参照してください。

(2) 以下の２通りの方法でボーラス履歴を確認できます。

- [インフォメーション]をタップし、ボーラス履歴画面を表示します。
  ※PCA 回数は、PCA 設定がされていない場合、表示されません。
  ※[インフォメーション]は、PCA スイッチ操作を一度も行っていない場合、表示されません。
  ※ドライブユニットと接続していない場合も、[✓] アイコンが表示されている時は表示できます。

- [☰]をタップし、サブメニューを表示します。
  サブメニューから[ボーラス履歴]をタップし、ボーラス履歴画面を表示します。
  ※ドライブユニットと接続していない場合も、[✅]アイコンが表示されている時は表示できます。

＜ボーラス履歴画面＞



番号	内容
①	表示対象にするボーラス投与を[PCA][単回]から選択します。
②	表示対象にするボーラス投与を[有効][無効]から選択します。
③	オンにした場合は、表示対象にするボーラス投与の日付を選択できます。 オフにした場合は、全ての日付を表示対象にします。
④	表示されているボーラス投与の合計回数及び合計投与量を表示します。 ※［PCA］は[有効回数/要求回数(投与量)]の形式で表示します。 ※［単回］は[回数(投与量)]の形式で表示します。
⑤	ボーラス投与の履歴一覧を表示します。 ※①～③によって絞り込まれた履歴を表示します。

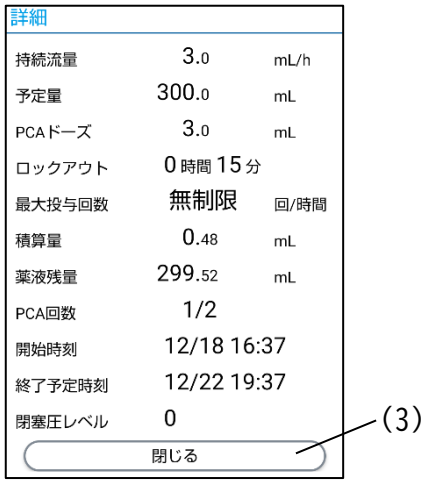
ドライブユニットの詳細情報を確認する(持続投与モード、間欠投与モード)

(1) コムタッチを持続投与モード又は間欠投与モードで輸液中のドライブユニットに接続し、ドライブユニット画面を表示します。
P.24「ドライブユニット状態を確認する」を参照してください。

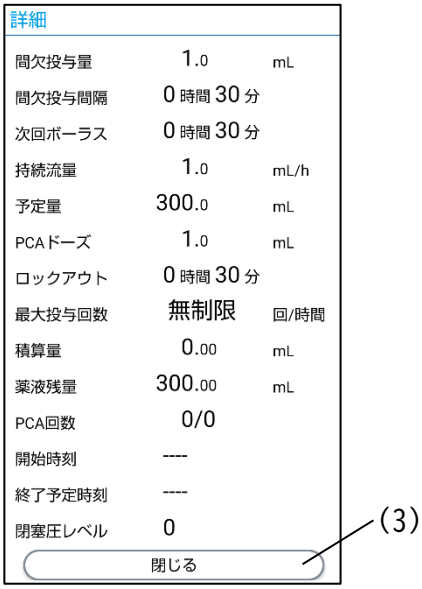
(2) [詳細]をタップし、詳細ダイアログを表示します。
※ [⊖] アイコンが表示されている時は、[開始時刻]に----と表示します。[✔] アイコンが表示されている時は、ドライブユニットに接続していない場合でも、[開始時刻]に正しい時刻を表示します。

(3) 確認を終えたら、[閉じる]をタップし、ダイアログを閉じます。
※[PCA ドーズ]、[ロックアウト]及び[最大投与回数]は、PCA を設定していない場合[----]と表示します。
※[予定量]及び[薬液残量]は、予定量を設定していない場合[----]と表示します。
※[薬液残量]は、KVO 等で予定量を超えて送液された場合、負の値で表示されます。
※[終了予定時刻]は、予定量を設定していない又は停止中の場合[----]と表示します。
※[終了予定時刻]は PCA スイッチ操作等によって、変化する場合があります。
※[間欠投与量]、[間欠投与間隔]及び[次回ボーラス]は、間欠投与を設定していない場合[----]と表示します。
※詳細ダイアログの内容が正しく表示されない場合は、ドライブユニットの情報の読込みが完了していない可能性があります。コムタッチをドライブユニットに接続しなおしてから、[詳細]をタップして詳細ダイアログを表示してください。

＜持続投与モード＞



＜間欠投与モード＞



ドライブユニットの詳細情報を確認する(プログラム投与モード)

(1) コムタッチをプログラム投与モードで輸液中のドライブユニットに接続し、ドライブユニット画面を表示します。
P.24「ドライブユニット状態を確認する」を参照してください。

(2) [詳細]をタップし、詳細ダイアログを表示します。
※ [⊖] アイコンが表示されている時は、開始済プログラムの[開始日時]に----と表示します。[✓] アイコンが表示されている時は、ドライブユニットに接続していない場合でも、開始済プログラムの[開始日時]に正しい日時を表示します。

(3) 確認を終えたら、[閉じる]をタップし、ダイアログを閉じます。
※[PCA ドーズ]、[ロックアウト]及び[最大投与回数]は、PCA を設定していない場合[----]と表示します。
※停止中に、輸液設定時の開始時刻を過ぎている場合、現在時刻から開始した想定で各プログラムの開始日時を表示します。
※終了したプログラムはグレーアウトされます。

輸液設定を行う

設定画面で持続投与モードの設定を行います。
持続投与に関しては、P.18「持続投与画面」及び「クーデックエイミーPCA 取扱説明書」も併せて確認してください。

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

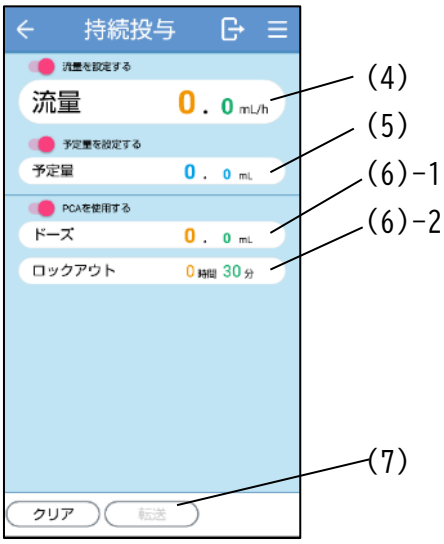
(2) コムタッチをドライブユニットに接続します。

(3) ドライブユニット画面で[新規設定]をタップし、設定画面を表示します。

(4) [流量]をタップし、流量を設定します。
※流量を設定しない場合は、[流量]トグルスイッチをタップして、流量をオフにします。

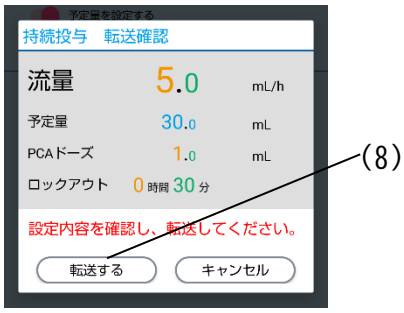
(5) [予定量] をタップし、予定量を設定します。
※予定量を設定しない場合は、[予定量]トグルスイッチをタップして、予定量をオフにします。

(6) PCA を設定します。
1. [ドーズ]をタップし、ドーズ量を設定します。
2. [ロックアウト]をタップし、ロックアウトタイムを設定します。
※PCA を使用しない場合は、[PCA]トグルスイッチをタップし、PCA をオフにします。



(7) 各条件の設定後、[転送]をタップすると、転送確認ダイアログが表示されます。

(8) 内容に間違いが無いことを確認し、[転送する]をタップします。
※正しく転送されると、ドライブユニット画面に戻り、転送した輸液設定がドライブユニット画面に表示されます。



ドライブユニットを操作する

ドライブユニット画面で、ドライブユニットを操作します。
コムタッチをドライブユニットに接続した際にドライブユニット画面下部に表示される操作パネルの各操作ボタンを用いて操作します。

操作ができないボタンは非表示又はグレーアウトになります。
代表的なドライブユニットの状態における操作パネルのボタン表示は以下の通りです。

輸液設定前　　輸液設定後　　輸液中

準備

(1) エイミーズウィンドウを起動し、ドライブユニット画面を表示します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。
(2) ドライブユニットにコムタッチを接続します。

プライミングする

(1) エイミーMP ユニットをドライブユニットに装着します。
(2) [ロック]レバーでポンプをロックします。
(3) [プライミング]をタップし、プライミングダイアログを表示します。
(4) [プライミング]をタップし、プライミングを開始します。
(5) [停止]をタップするとプライミングが終了します。
(6) [閉じる]をタップするとドライブユニット画面に戻ります。

※ドライブユニット画面に以下の表示がされている場合、プライミング操作できません。
[バッテリ][閉塞][完了][ポンプ][ロック]（詳細は P.13「ドライブユニット画面」を参照してください）

※プライミング中は、気泡警報は発生しません。
※プライミング中にコムタッチがドライブユニットから外れるとプライミングは自動的に停止します。
※[停止]をタップせずに一定時間（初期状態 60 秒）経過すると、プライミングは自動的に停止します。
※プライミングしている間、積算量は加算されます。
※プライミング中はドライブユニットのブザーが断続的に鳴り、インジケータがスクロールします。

輸液を開始する

(1) プライミングし、エイミーMP ユニットを薬液で満たしてください(P.29「プライミングする」を参照してください)。
(2) [開始]をタップすると、確認ダイアログが表示されます。
(3) [開始する]をタップし、輸液を開始します。

※ドライブユニット画面に以下の表示がされている場合、開始できません。
[バッテリ][気泡][閉塞][完了][ポンプ][ロック] (詳細は P.13「ドライブユニット画面」を参照してください)

輸液を停止する

(1) 輸液中に[停止]をタップすると、確認ダイアログが表示されます。
(2) [停止する]をタップし、輸液を停止します。

積算量をクリアする

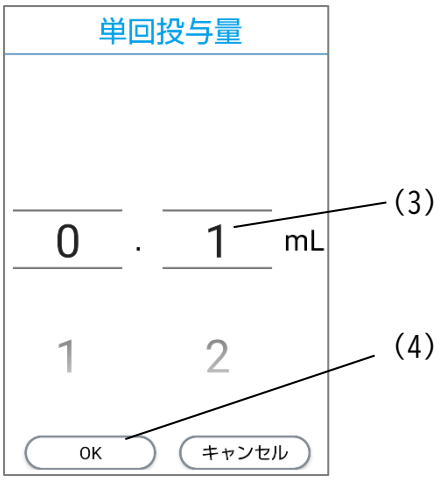
(1) [積算量クリア]をタップすると、確認ダイアログが表示されます。
(2) [クリアする]をタップし、積算量をクリアします。

※輸液中は、積算量のクリアはできません。

単回投与する

単回投与は、エイミーズウィンドウで医療従事者が行う追加投与(ボーラス投与)です。ロックアウトタイムはありません。輸液中であればいつでも投与することができます。

(1) 輸液を開始します(P.30「輸液を開始する」を参照してください)。
(2) [単回投与]をタップすると、単回投与ダイアログが表示されます。
(3) 数値をフリックし単回投与量を選択します。
(4) [OK]をタップすると、確認ダイアログを表示します。
(5) 単回投与量に間違いが無いこと確認し、[OK]をタップすると、単回投与を開始します。



注意
過大投与にならないよう十分注意してください。

※PCA ボーラス投与中及び間欠投与によるボーラス投与中は、単回投与できません。

スタンバイモードにする

スタンバイモードは輸液の設定が完了している状態で省電力待機するモードです。
スタンバイモード中は、輸液の設定は保持されますが、操作忘れ警報は発生しません。

(1) [スタンバイ]をタップすると、確認ダイアログが表示されます。
(2) [スタンバイ]をタップし、スタンバイモードにします。
※輸液未設定又は輸液中は、スタンバイモードにできません。
※スタンバイモードから復帰するには、ドライブユニットにコントローラを再接続してください。

注意
スタンバイモード中は機器の操作を忘れないように注意してください。

電源をオフにする

(1) [電源オフ]をタップすると、確認ダイアログが表示されます。
※輸液中の場合は、輸液停止の確認ダイアログが表示されるので電源をオフにする場合は、[はい]をタップします。
(2) 確認ダイアログ上で[電源オフ]をタップし、電源をオフにします。
※電源をオフにすると輸液の設定はクリアされます。

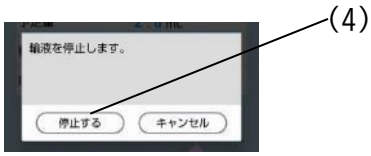
輸液の設定を変更する

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) 輸液中のドライブユニットにコムタッチを接続します。

(3) 輸液中の場合は、ドライブユニット画面で[停止]をタップします。

(4) 確認ダイアログの[停止する]をタップし、輸液を停止します。



(5) [設定変更]をタップし、設定画面を表示します。
設定画面には、現在の輸液設定が表示されます。

(6) 輸液設定を変更し、ドライブユニットに転送します。設定画面の操作に関しては、P.28「輸液設定を行う」P.37「間欠投与」P.40「プログラム投与」を確認してください。

(7) 輸液を開始します。開始操作に関しては、P.30「輸液を開始する」を確認してください。

※設定変更時は、転送履歴を用いた輸液設定は行えません。
転送履歴に関しては P.47「転送履歴」を参照してください。
※設定変更時は、プリセットを用いた輸液設定は行えません。
プリセットに関しては、P.70「プリセット機能」を参照してください。
※プログラム投与の場合は、すでに実行されているプログラムの変更は行えません。

エイミーズウィンドウを終了する

Android の機能でエイミーズウィンドウを終了する

(1) 画面下端から画面中央へ向けてスワイプし、指を止めたあと離し、アプリ使用履歴画面を表示します。

(2) エイミーズウィンドウを上方向へフリックし、アプリを終了します。
※携帯端末の操作方法詳細に関しては、携帯端末の取扱説明書を確認してください。

※アプリ一覧画面にエイミーズウィンドウが表示されていない場合は、左右にフリックしてエイミーズウィンドウを表示してください。

ログアウトボタンでエイミーズウィンドウを終了する

(1) [ログアウト]をタップし、確認ダイアログを表示します。

(2) [はい]をタップすると、エイミーズウィンドウを終了します。

(1)

自動終了

無操作の状態で 10 分以上放置された場合、自動的にエイミーズウィンドウは終了します。

※[自動スリープを使用する]がオフの場合、無操作であってもエイミーズウィンドウは自動終了しません（ログイン画面を表示している場合を除く）。

エイミーズウィンドウをワンタッチで表示する

エイミーズウィンドウの画面を、ワンタッチ表示させることができます。

(1) ドライブユニット画面が表示された状態で、コントローラの[電源キー]を押し、スリープ状態にします。

(2) コムタッチをドライブユニットに接続すると、自動的にコントローラのスリープを解除し、エイミーズウィンドウの画面を表示します。
※エイミーズウィンドウがバックグラウンド状態にあるときに、コムタッチをドライブユニットに接続すると、ヘッドアップ通知を表示します

〈ホーム画面を表示している時〉

ヘッドアップ通知をタップするとエイミーズウィンドウを表示します。

〈ロック画面を表示している時〉

ヘッドアップ通知をダブルタップするとエイミーズウィンドウを表示します。

（Android9 以前の携帯端末では、ヘッドアップ通知は表示せず、エイミーズウィンドウの画面を表示します）。

※スリープ状態で一定時間経過すると、コムタッチをドライブユニットに接続しても、エイミーズウィンドウの画面が表示されない場合があります（時間は携帯端末の機種によって異なります）。
※コムタッチをドライブユニットに接続しても、エイミーズウィンドウの画面が表示されない場合は、P.23「エイミーズウィンドウを起動する」の手順にしたがってエイミーズウィンドウを起動してください。
※携帯端末の画面ロックを[パスワード]、[ロック No.(PIN)]等に設定している場合は、ロック画面が表示されます。
※本機能は、コントローラにエイミーズウィンドウ PCA 以外のエイミーズウィンドウがインストールされていない場合のみ動作します。

その他の使用方法

持続投与

投与時間を使用する

[投与時間を使用する]をオンにすることで、投与時間を指定できます（新規設定時のみ）。
[投与時間を使用する]をオンにする方法は、管理者設定マニュアルを参照してください。
[投与時間]以外の項目の設定方法については、P.28「輸液設定を行う」を参照してください。
※[投与時間を使用する]がオンの場合は、設定画面に、[投与時間] を表示します。

(1) 持続投与の設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。

(2) [予定量]をタップし、予定量を設定します。

(3) [投与時間]をタップし、投与時間を設定します。
投与時間は 5 分～168 時間（5 分ステップ、最大 7 日間）に設定できます。
[予定量]と[投与時間]を設定すると、自動的に[流量]を算出し設定します。
※[流量]の算出時には、小数点第 2 位以下を切り捨てます。このため、実際の投与時間は、設定した[投与時間]より長くなる場合があります。
※[流量]を変更したい場合は、[流量]をタップし、流量を設定することができます。
このとき、表示されている[投与時間]は変更されません。

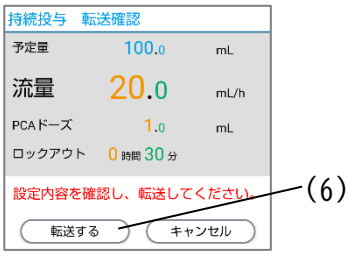
(4)PCA を設定します。
1. [ドーズ]をタップし、ドーズ量を設定します。
2. [ロックアウト]をタップし、ロックアウトタイムを設定します。
※PCA を使用しない場合は、[PCA]トグルスイッチをタップし、PCA をオフにします。

(5)[転送]をタップします。

(6)内容に間違いが無いことを確認し、転送確認ダイアログの[転送する]をタップします。

※正しく転送されると、ドライブユニット画面に戻り、転送した輸液設定がドライブユニット画面に表示されます。

※間違った場合は[キャンセル]をタップすると設定を修正できます。



間欠投与

間欠投与は一定投与間隔ごとにボーラス投与を行う投与モードです。間欠投与時の動作に関しては、「クーデックエイミーPCA 取扱説明書」を参照してください。
間欠投与は初期状態ではオフになっています。オンにする方法は P.83「有効にする投与モードの切替」を確認してください。

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) コムタッチをドライブユニットに接続します。

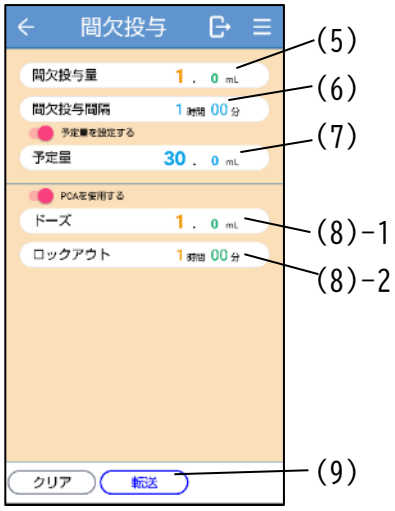
(3) ドライブユニット画面で[新規設定]をタップし、設定画面を表示します。

(4) 設定画面をスワイプし間欠投与画面を選択します。
※投与モードの選択方法は P.17「設定画面」を参照してください。

(5) [間欠投与量]をタップし、間欠投与量を設定します。

(6) [間欠投与間隔]をタップし、間欠投与間隔を設定します。
※初回の間欠ボーラス投与は、開始操作後ただちに行われます。

(7) [予定量]をタップし、予定量を設定します。
※予定量を設定しない場合は、[予定量]トグルスイッチをタップして、予定量をオフにします。

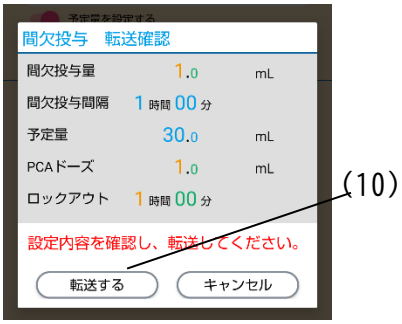


(8) PCA を設定します。
1. [ドーズ]をタップし、ドーズ量を設定します。
2. [ロックアウト] をタップし、ロックアウトタイムを設定します。

※PCA を使用しない場合は、[PCA]トグルスイッチをタップし、PCA をオフにします。

(9) [転送]をタップします。

(10) 内容に間違いが無いことを確認し、転送確認ダイアログの[転送する]をタップします。
※正しく転送されると、ドライブユニット画面に戻り、転送した輸液設定がドライブユニット画面に表示されます。
※間違った場合は[キャンセル]をタップすると設定を修正できます。



間欠投与を詳細に設定する

[詳細を設定する]をオンにすることで、持続流量及び次回ボーラス機能を使用できます。
[詳細を設定する]をオンにする方法は、管理者設定マニュアルを参照してください。
持続流量及び次回ボーラス以外の項目の設定方法については、P.37「間欠投与」を参照してください。

※[詳細を設定する]がオンの場合は、設定画面、転送確認ダイアログ等に、[持続流量] 及び [次回ボーラス] を表示します。
※[詳細を設定する]がオフの場合は、[持続流量] 及び [次回ボーラス] がオフであるとみなして動作します。

(1) 間欠投与の設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。

(2) 次回ボーラスを設定する場合は、[次回ボーラス]トグルスイッチをタップして、次回ボーラスをオンにします。

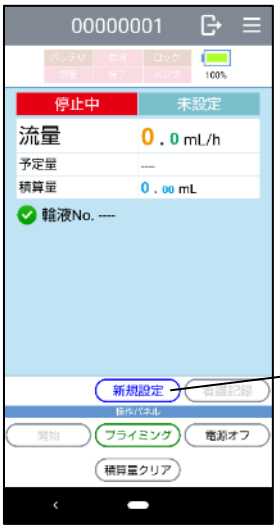
(3) [次回ボーラス]をタップし、次回ボーラスまでの時間を設定します。
※次回ボーラスを設定している場合は、開始操作を行ってから、[次回ボーラス] 時間経過後に、初回の間欠ボーラス投与を行います。
※ [次回ボーラス] トグルスイッチをオフにしている場合、初回の間欠ボーラス投与は、開始操作を行ってから、ただちに行われます。

(4) 持続流量を設定する場合は、[持続流量を設定する]トグルスイッチをタップし、持続流量をオンにします。

(5) [持続流量]をタップし、流量を設定します。
※持続流量を設定している場合は、間欠ボーラス投与を行っていない間に、設定した [持続流量] で持続投与を行います。
※ [持続流量を設定する] トグルスイッチをオフにしている場合は、持続投与を行いません。

プログラム投与

設定画面を用いてプログラム投与の設定を行う方法を説明します。
プログラム投与は、プログラムごとに流量と投与時間を指定することができます。
プログラム投与は初期状態ではオフになっています。オンにする方法は P.83「有効にする投与モードの切替」を確認してください。



(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) コムタッチをドライブユニットに接続します。

(3) ドライブユニット画面で[新規設定]をタップし、設定画面を表示します。

(4) 設定画面をスワイプし、プログラム投与画面を選択します。
※投与モードの選択方法は P.17「設定画面」を確認してください。

(5) PCA を設定します。
1. [ドーズ]をタップし、ドーズ量を設定します。
2. [ロックアウト]をタップし、ロックアウトタイムを設定します。
※PCA を使用しない場合は、[PCA]トグルスイッチをタップし、PCA をオフにします。

(6) [+]をタップしプログラムを追加します。

(7) [開始日時]をタップし、プログラムの開始日時を選択します。

(8) [流量]をタップし、プログラムの流量を設定します。

(9) [時間]をタップし、プログラムの時間を設定します。

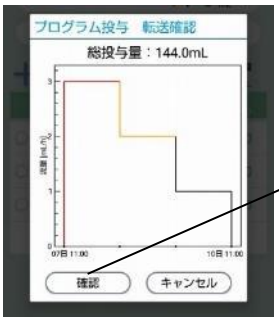
(10) (6)、(8)、(9)を繰り返し、すべてのプログラムを登録します。

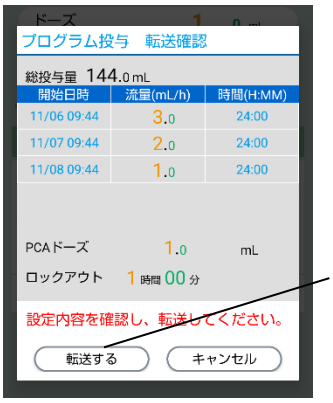
(11) [転送]をタップし、転送確認ダイアログ(チャート)を表示します。

(12) 内容に間違いが無いことを確認し、[確認]をタップし、転送確認ダイアログ(リスト)を表示します。

(13) 内容に間違いが無いことを確認し、[転送する]をタップします。

(14) 正しく転送されると、ドライブユニット画面に戻り、転送した輸液設定がドライブユニット画面に表示されます。

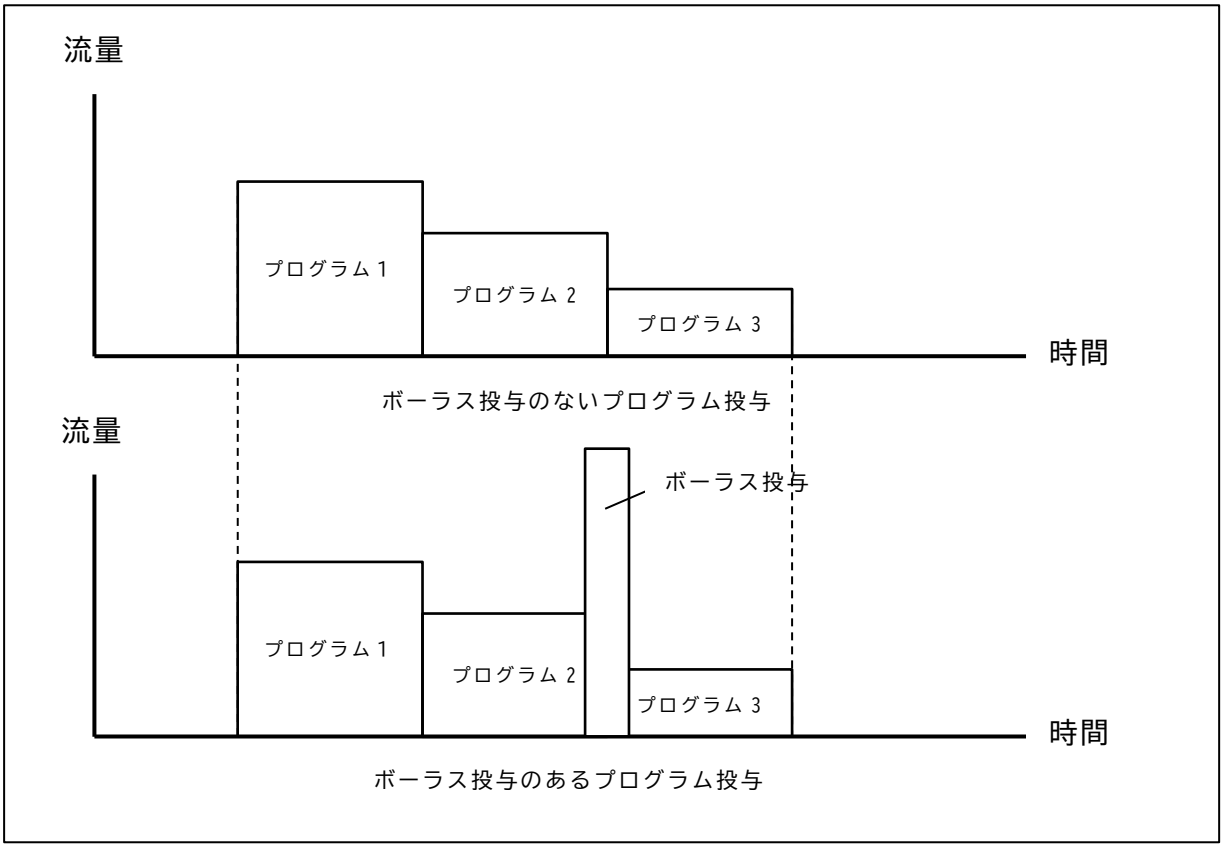




※先頭プログラムの開始日時が現在時刻より過去の場合は、開始操作時を開始日時とみなし、輸液を開始します。
※プログラムは最大 50 個まで登録できます。

注意

プログラム投与は時間を基準にした投与モードです。プログラム投与中に PCA スイッチ操作や単回投与を行うと、PCA 投与や単回投与によるボーラス投与が優先的に行われますが、プログラムの終了時間は変更されません。
結果として[積算量]が[総投与量]を上回ることがあります。
過大投与には十分注意してください。

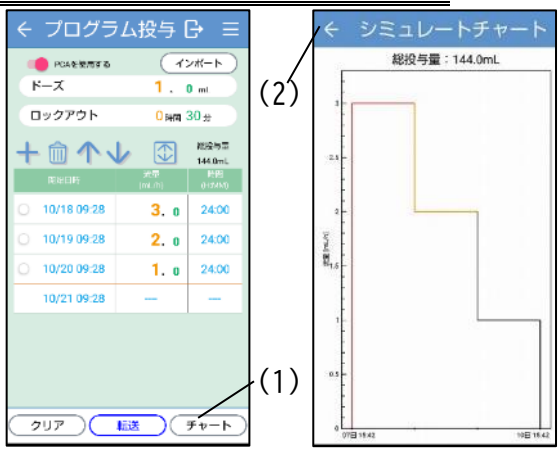


プログラム投与中のボーラス投与

チャートの確認

(1) [チャート]をタップし、チャートを表示します。

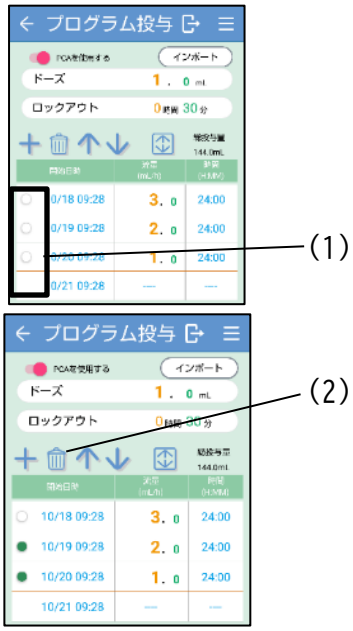
(2) [戻る←]をタップし、設定画面に戻ります。



プログラムの削除

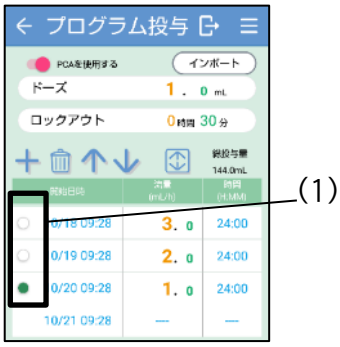
(1) 削除するプログラムの左の［チェックボックス○］をタップし、選択します。選択されたプログラムのチェックボックスは緑色になります。
もう一度タップすると、選択は解除されます。
一度に削除したい場合は複数選択することができます。

(2) ［🗑］をタップすると、選択したプログラムが削除されます。



プログラムの移動

(1) 移動するプログラム左の［チェックボックス○］をタップし、選択します。
選択されたプログラムのチェックボックスは緑色になります。
もう一度タップすると、選択は解除されます。
移動するプログラムは１つのみ選択できます。



(2) ［↑］又は［↓］をタップし、選択したプログラムを移動します。

プログラムのインポート

あらかじめ準備された設定ファイルをインポートすることでプログラム投与を設定することができます。

⑥　準備

①PC を用いて、以下のフォーマットで拡張子 CSV のファイルを用意する。

＜フォーマット＞

流量 1,時間 1
流量 2,時間 2
流量 3,時間 3

＜例＞

24 時間ごとに流量を 3.0mL/h→2.0mL/h→1.0mL/h と変化させる場合、ファイルを以下のように記述します。

3.0,24:00
2.0,24:00
1.0,24:00

※半角英数字で入力してください。
※設定できる範囲は流量 0.0mL/h 及び 0.1～30mL/h、時間 00:01～24:00 です。
※プログラムの最大数は 50 個です。

②携帯端末と PC を USB ケーブルで接続します。

③携帯端末の画面で[ファイル転送]をタップします。

④ PC で [PC¥SH-M15¥内部共有ストレージ¥Android¥data¥jp.co.daiken_iki.amys_window¥files¥Documents¥PROGRAM]のフォルダ以下に、①で用意した CSV ファイルをコピーします。
※フォルダ名の[SH-M15¥内部共有ストレージ]の箇所は、使用する携帯端末によって異なります。携帯端末の仕様に合わせて読み替えてください。

(1) [インポート]をタップします。

(2) ファイル選択ダイアログからインポートするファイルをタップします。
※インポートしない場合は[選択しない]をタップします。
※フォーマットエラーがあると「形式が正しくありません。」と表示されます。CSV ファイルの記載内容が上記フォーマットを満たしているか確認してください。

(3) 必要に応じて先頭プログラムの開始時刻を変更します。
※先頭プログラムの初期値は現在時刻となっています。

薬液交換機能を使用する

薬液交換時に、予定量を簡単に変更できます。

薬液交換機能を使用するには、コントローラ設定の[薬液交換を使用する]をオンにする必要があります。[薬液交換を使用する]をオンにする方法は P.82「薬液交換設定の切替」を確認してください。

(1) 予定量を設定した輸液設定を行います(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。

(2) 輸液を開始します。

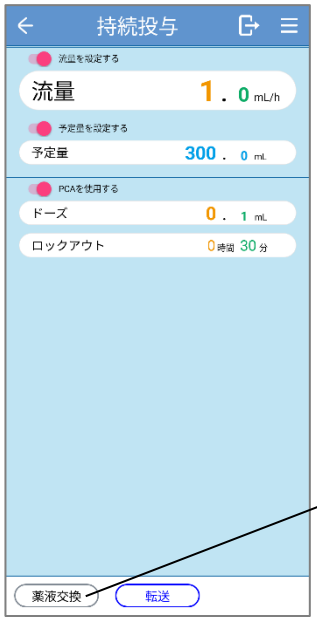
(3) 薬液交換のタイミングになったら、輸液を停止します。

(4) [設定変更]をタップし、設定画面を表示します。

(5) [薬液交換]をタップし、[薬液量] ピッカーを表示します。

※(1)で設定した予定量を、[薬液量] ピッカーの初期値として表示します。ただし、輸液を開始していない場合など、輸液開始時の予定量が取得できない場合は、0.0mL を初期値として表示します。

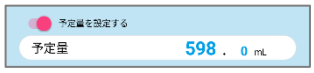
※[薬液交換]は持続投与及び間欠投与でのみ使用できます。



(6) 数値をフリックし、交換する薬液の量を設定します。

(7) [OK]をタップすると、予定量を「積算量＋薬液量」に変更します。

※例：予定量 300.0mL、積算量 298.05mL の場合に、300mL 入りの薬液バッグに交換し、薬液量を 300.0mL に設定すると、予定量を 598.0mL に変更します。



※小数点第 2 位以下を切り捨てます。

※予定量が 9999.9mL を超過する設定にはできません。

転送履歴

過去に転送した履歴を用いて輸液設定を行うことができます。

(1) ドライブユニット画面で［新規設定］をタップし、設定画面を表示します。操作方法は P.28「輸液設定を行う」を確認してください。

(2) ［サブメニュー☰]をタップし、サブメニューを表示します。

(3) サブメニューから[転送履歴]をタップし、転送履歴画面を表示します。

※呼出し元の投与モードで絞り込まれた転送履歴が表示されます。

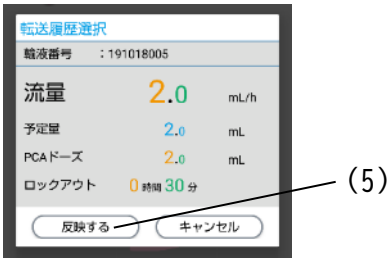
※初期状態では過去 7 日間の履歴が表示されます。

※期間指定を解除したい場合は、[期間を指定する]トグルスイッチをタップし、期間指定をオフにします。

※ドライブユニットで絞り込む場合は、[ドライブユニットを指定する]トグルスイッチをタップし、表示対象にするドライブユニットを選択します。

(4) 履歴一覧から読み込む転送履歴をタップします。

(5) 内容を確認し、間違いがなければ[反映する]をタップすると、設定画面に戻り選択内容が反映されます。

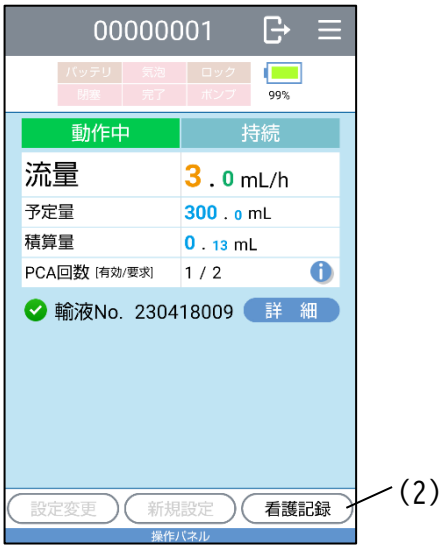


看護記録

痛みレベル等のメモを看護記録として残し、後から確認することができます。

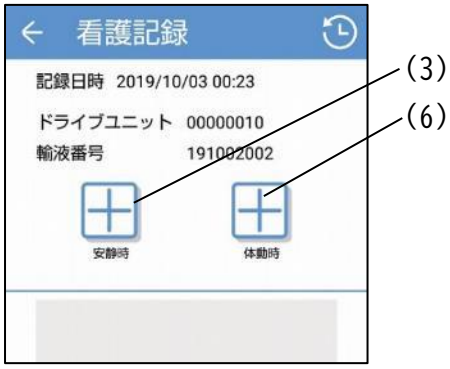
看護記録を残す

(1) コムタッチを輸液設定されたドライブユニットに接続し、ドライブユニット画面を表示します。



(2) [看護記録]をタップし、看護記録画面を表示します。
※輸液設定されていない場合は、看護記録画面は表示できません。

(3) [安静時]の [⊞] をタップし、ペインレベル選択画面を表示します。
※ペインレベル選択画面に表示するペインスケールはコントローラ設定で変更することが可能です。詳細は P.82「ペインスケール種別の切替」を参照してください。



(4) 安静時の患者ペインレベルをタップし選択します。
※スライダーをタップすると中間値を選択できます。
※ペインスケール種別を「FPS」に設定している場合は、フェイスアイコンの中間点をタップすると、中間値を選択できます。

(5) [登録]をタップし、安静時のペインレベルを登録します。登録すると看護記録画面に戻ります。

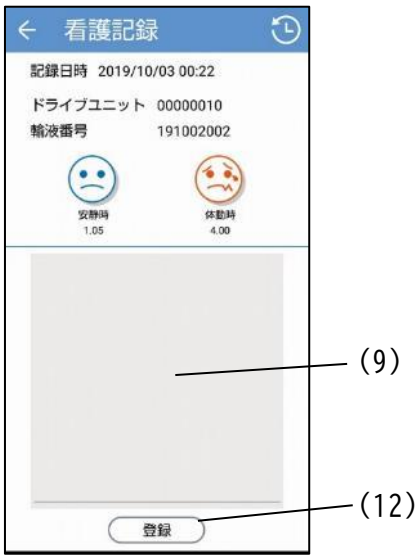
(6) [体動時]の [⊞] をタップし、ペインレベル選択画面を表示します。

(7) 体動時の患者ペインレベルをタップし選択します。
※スライダーをタップすると、中間値を選択できます。
※ペインスケール種別を「FPS」に設定している場合は、フェイスアイコンの中間点をタップすると、中間値を選択できます。

(8) [登録]をタップし、体動時のペインレベルを登録します。登録すると看護記録画面に戻ります。

(9) メモ領域をタップし、キーボードを表示します。

(10) キーボードを使用し、メモを作成します。
※キーボードの操作方法は携帯端末の取扱説明書を確認してください。



(11) [閉じるキー ⌄]をタップし、キーボードを閉じます。

(12) [登録]をタップし、看護記録を履歴に登録します。

看護記録の履歴を確認する

(1) 看護記録画面を表示します。
P.48「看護記録を残す」を参照してください。

(2) [履歴]をタップし、看護記録履歴画面を表示します。

＜看護記録履歴画面＞

輸液番号が一致する看護記録の履歴を表示します。
※別のコントローラを使用して記録した看護記録は表示されません。
※PCA を使用しない設定にしている場合は、[PCA 要求日時]及び[PCA 回数]の項目は表示されません。
※ [⊖] アイコンが表示されている時は、PCA 情報を表示しません。
[✔] アイコンが表示されている時は、ドライブユニットに接続していない場合でも PCA 情報を表示します。

番号	内容
①	[PCA 要求日時]トグルスイッチ オン時、看護記録に加え PCA スイッチ操作の履歴を表示します。 オフ時は看護記録のみを表示します。
②	[編集] タップすると、看護記録画面を表示し、看護記録の内容を編集することができます。 ※エイミーズ DB マネージャに履歴が取り込まれた後は、[インフォメーション]が表示され、編集できなくなります。[インフォメーション]をタップするとメモを確認することができます。

輸液チャート

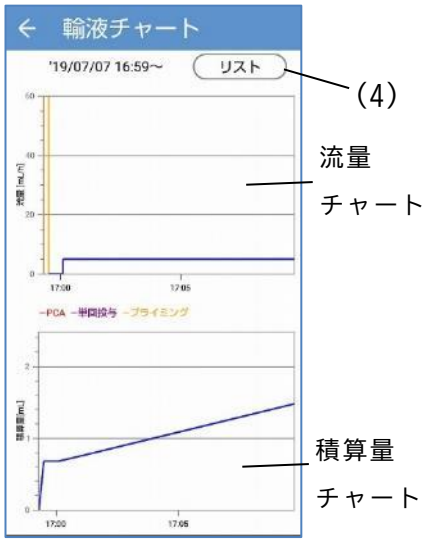
現在の輸液状況をチャート形式及びリスト形式で確認します。

(1) コムタッチを輸液中のドライブユニットに接続します。

(2) ［サブメニュー☰]をタップし、サブメニューを表示します。

(3) サブメニューから[輸液チャート]をタップし、輸液チャート画面を表示します。
※上部に流量チャートグラフ、下部に積算量チャートグラフを表示します。
※輸液未設定では輸液チャートは表示できません。
※ドライブユニットと接続していない場合も、[✔] アイコンが表示されている時は表示できます。

(4) [リスト]をタップし、リスト形式での履歴を表示します。
※降順でドライブユニットの動作イベントがリスト形式で表示されます。
※［インフォメーション ⓘ］をタップすると、イベントの詳細を表示します。
※[チャート]をタップするとチャート画面に戻ります。
※ ドライブユニットと接続していない場合は、一部のイベントが[リスト]に反映されないことがあります。



(5) [戻る←]をタップし、ドライブユニット画面に戻ります。

動作履歴の保存

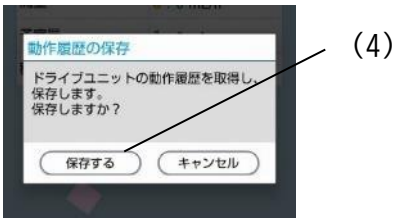
ドライブユニットの動作履歴を取得し、コントローラに保存します。
保存した履歴は、後から履歴確認で確認することができます。
また、エイミーズ DB マネージャを使用することで、PC を用いて確認することができます。
エイミーズ DB マネージャの詳細は、エイミーズ DB マネージャの取扱説明書を確認してください。

(1) ドライブユニットにコムタッチを接続します。

(2) [サブメニュー☰]をタップし、サブメニューを表示します。

(3) サブメニューから[動作履歴の保存]をタップし、確認ダイアログを表示します。
※ドライブユニットが輸液中の場合、動作履歴の保存はできません。輸液を停止して、動作履歴の保存を行ってください。

(4) [保存する]をタップします。
※コントローラが未取得のドライブユニット動作履歴をすべて取得します。
※未取得の履歴が多い場合、動作履歴の保存に 1 分程度の時間がかかる場合があります。
※動作履歴の保存中はコムタッチをドライブユニットから取り外さないでください。

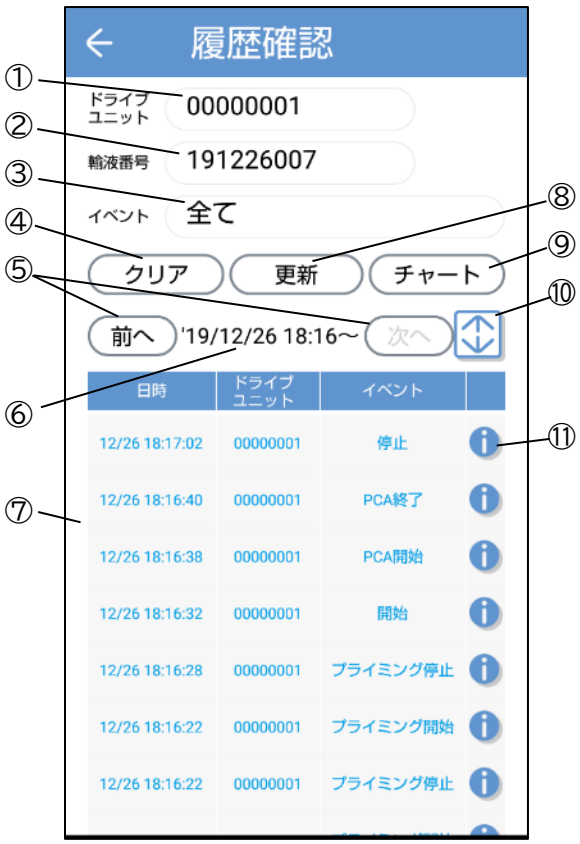


履歴確認

動作履歴をチャート形式及びリスト形式で表示します。
ドライブユニットの動作履歴が保存されていない場合は全ての履歴は表示されません。ドライブユニットの動作履歴を保存する方法は P.52「動作履歴の保存」を確認してください。
※コントローラに保存される動作履歴の上限は 50000 件です。
※50000 件を超えると古い動作履歴から上書きします。

(1) [サブメニュー☰]をタップし、サブメニューを表示します。
(2) サブメニューから[履歴確認]をタップし、履歴確認(リスト)画面を表示します。
※履歴確認（チャート）画面を表示するには、[チャート]をタップしてください。

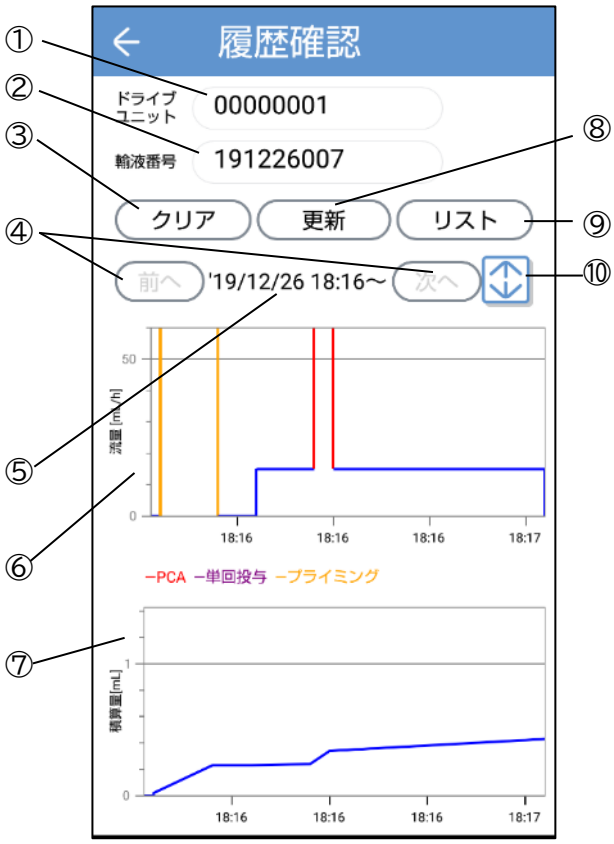
履歴確認(リスト)画面



番号	内容
①	タップすると絞り込むドライブユニットを選択できます。※1
②	タップすると絞り込む輸液番号を選択できます。※1
③	タップすると絞り込むイベントを選択できます。※1
④	タップすると選択されているドライブユニットと輸液番号とイベントをクリアします。
⑤	タップすると前後の輸液番号に表示を切り替えます。 輸液番号が選択されてない場合は、前後の履歴に表示内容を切り替えます。
⑥	表示されているリストの先頭日時を表示します。
⑦	ドライブユニットと輸液番号とイベントで絞り込んだ履歴をリスト形式で降順に表示します。輸液番号が指定されていない場合は降順に 20 件表示します。
⑧	タップするとリストを更新します。
⑨	タップするとチャート形式の動作履歴を表示します。
⑩	タップすると表示領域を拡大し [⊠] を表示します。 [⊠] をタップすると表示領域を元に戻します。
⑪	該当イベントの詳細情報を表示します。

※1　変更するとリストはクリアされます。
再度表示するには[更新]をタップしてください。

履歴確認(チャート)画面



番号	内容
①	タップするとドライブユニットを選択できます。※1
②	タップすると輸液番号を選択できます。※1
③	タップすると選択されているドライブユニットと輸液番号をクリアします。
④	タップすると前後の輸液番号に表示を切り替えます。
⑤	輸液の開始日時を表示します。
⑥	選択された輸液番号の流量チャートを表示します。
⑦	選択された輸液番号の積算量チャートを表示します。
⑧	タップすると選択されたドライブユニットと輸液番号でチャートを更新します。
⑨	タップするとリスト形式の動作履歴を表示します。
⑩	タップすると表示領域を拡大し[ ] を表示します。[ ] をタップすると表示領域を元に戻します。

※1　変更するとチャートはクリアされます。
再度表示するには[更新]をタップしてください。

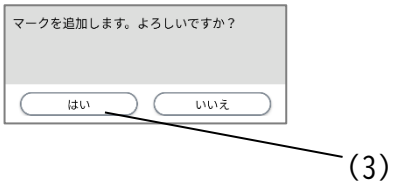
マーク履歴を使用する

任意の期間の投与量及び PCA 回数を表示することができます。
マーク履歴を使用するには、コントローラ設定の[マークを使用する]をオンにする必要があります。[マークを使用する]をオンにする方法は P.87「マーク履歴を使用する」を確認してください。

(1) 輸液を開始します。
※初回の輸液開始時には自動でマークを追加します。

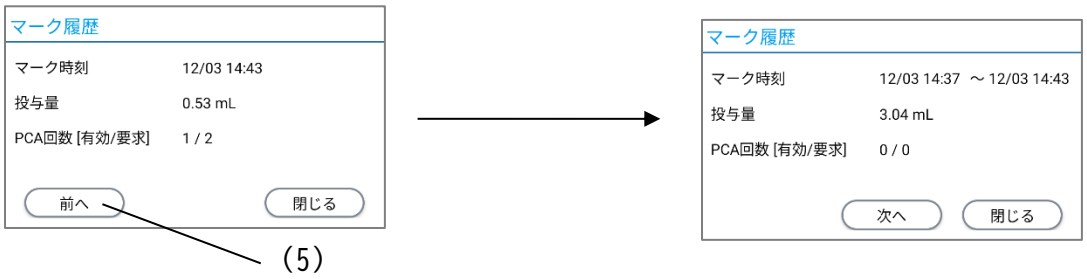
(2) ［マーク記録］をタップします。
※[マーク記録]は持続投与及び間欠投与でのみ使用できます。

(3) 確認画面で「はい」をタップすると、マークを追加します。
※積算量クリア時には自動でマークを追加します。



(4) ［マーク履歴］をタップすると、最後のマークから現在までの投与量及び PCA 回数を表示します。
※ドライブユニットと接続していない場合も、[✔]アイコンが表示されている時は表示できます。

(5) ［前へ]をタップすると､過去のマーク間の投与量及びPCA回数を表示します。



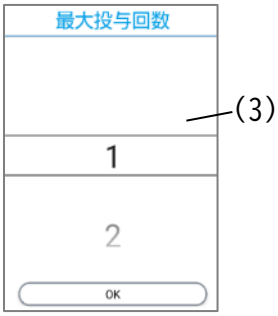
最大投与回数を使用する

[最大投与回数を使用する]をオンにすることで、1時間あたりのPCA最大投与回数を設定することができます。
ロックアウトタイム経過後であっても、最大投与回数が設定されている場合は、1時間あたりに最大投与回数までしか、PCAスイッチ操作によるボーラス投与を行いません。
［最大投与回数を使用する]をオンにする方法は、管理者設定マニュアルを参照してください。
※[最大投与回数を使用する]がオンの場合は、転送確認ダイアログ及び詳細ダイアログ等に、設定した［最大投与回数］を表示します。
※[最大投与回数を使用する]がオフの場合、最大投与回数は無制限となります。

(1) 設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。
※[最大投与回数を使用する]がオンの場合は[最大投与回数]が表示されます。

(2) [最大投与回数]をタップします。

(3) 最大投与回数を設定します。



閉塞圧レベルを確認する

[閉塞圧レベル]をオンにすることで、閉塞圧レベルを確認することができます。
[閉塞圧レベル]は初期状態ではオフになっています。オンにする方法は P.90「ドライブユニット画面表示」を確認してください。
[閉塞圧レベル]がオンの場合は、ドライブユニット画面及び詳細ダイアログに、閉塞圧レベルを４段階で表示します。

閉塞圧	閉塞圧レベル	ドライブユニット画面の表示
高い	3	
↑	2	
↓	1	
低い	0	

他のドライブユニットに輸液設定をコピーする

ドライブユニットに設定されている輸液設定を別のドライブユニットにコピーすることができます。

(1) コムタッチを、コピー元となる輸液設定済のドライブユニットに接続します。

(2) 輸液中の場合は輸液を停止します。停止方法に関しては P.30「輸液を停止する」を参照してください。

(3) [設定変更]をタップし、設定画面を表示します。

(4) コピー先となるドライブユニットにコムタッチを付け替えます。
※コピー先となるドライブユニットは電源オフの状態でコムタッチを接続してください。

(5) [転送]をタップし、確認ダイアログを表示します。

(6) [はい]をタップし、転送確認ダイアログを表示します。

(7) 内容に間違いが無いことを確認し、[転送する]をタップします。

※ドライブユニット設定が異なるドライブユニットにはコピーすることができません。

ソフトウェアバージョンの表示

(1) ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップし、サブメニューを表示します。

(2) サブメニューから[バージョン]をタップすると、エイミーズウィンドウのソフトウェアバージョンが表示されます。

ヘルプの表示

(1) ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップし、サブメニューを表示します。

(2) サブメニューから[ヘルプ（エイミーズウィンドウ）]をタップすると、この取扱説明書が表示されます。

(3) サブメニューから[ヘルプ（クーデックエイミー）]をタップすると、クーデックエイミーPCA の取扱説明書が表示されます。

初期状態に戻す

エイミーズウィンドウをインストール直後の状態に戻します。

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

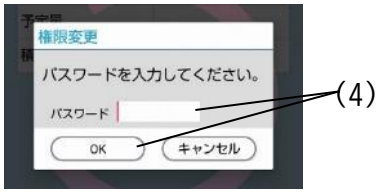
(2) ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップします。

(3) サブメニューから[権限変更]をタップします。

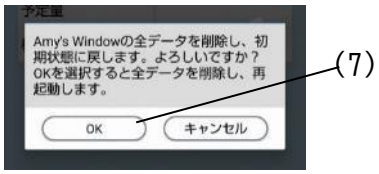
(4) [パスワード]に管理者権限を取得するパスワードを入力し、[OK]をタップし、管理者権限を取得します。
※初期パスワードは管理者設定マニュアルを確認してください。

(5) 再度ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップします。

(6) [初期状態に戻す]をタップします。



(7) ダイアログを確認し、[OK]をタップします。
※[OK]をタップするとコントローラ設定や、動作履歴等を含めたコントローラに保存されているアプリ情報をすべて削除します。
※エイミーズウィンドウが初期化され再起動します。



連携 ID

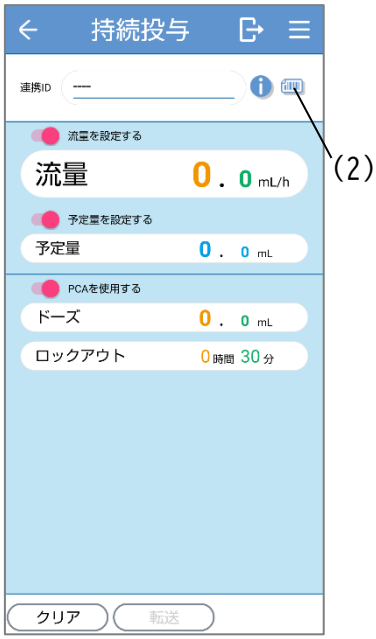
[連携 ID]をオンにすることで、任意の連携 ID を輸液設定時に設定することができます。
[連携 ID]をオンにする方法は P.89「連携 ID 設定の切替」を確認してください。
連携 ID を設定すると、連携 ID を使用して履歴を検索することができます。

バーコードを使用して設定する

(1) 設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。
※[連携 ID]がオンの場合[連携 ID]が表示されます。

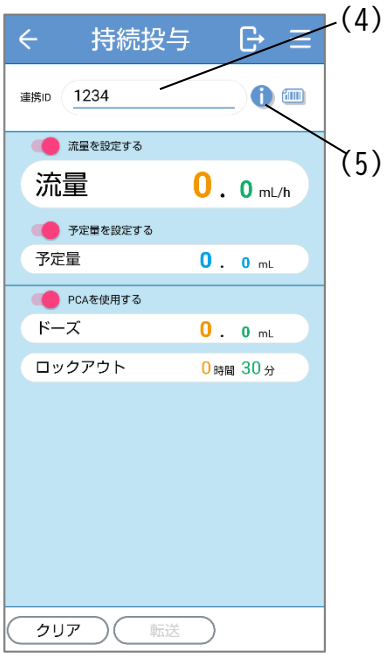
(2) [▥] をタップすると携帯端末のカメラ画面を表示します。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、カメラ画面は表示されません。

(3) カメラ画面でバーコードを読み取ります。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、外部バーコードリーダを使用して連携 ID のバーコードを読み取ってください。



(4) [連携 ID]ボックスに読み取った連携 ID が反映されます。

(5) [インフォメーション ⓘ] をタップし、設定した連携 ID 情報が正しいか確認します。



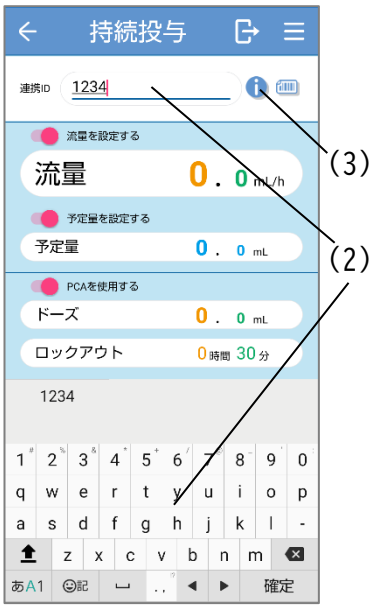
キーボードで設定する

(1) 設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。

※[連携 ID]がオンの場合は[連携 ID]が表示されます。

(2) [連携 ID]をタップし、表示されるキーボードで連携 ID を変更します。

(3) [インフォメーション ⓘ をタップすると設定した連携 ID 情報が表示されます。



拡張アプリ連携

拡張アプリを導入すると、操作履歴などを連携するシステムに保存することができます。

[拡張アプリ連携を使用する]をオンにすることで、拡張アプリとの連携を有効にできます。

[拡張アプリ連携を使用する]をオンにする方法は P.89「拡張アプリ連携設定の切替」を確認してください。

拡張アプリの詳細については弊社担当者までお問い合わせください。

看護記録連携を使用する

拡張アプリによって、看護記録ボタンが押されたときの動作をカスタマイズすることができます。

[看護記録連携を使用する]をオンにすることで、看護記録ボタンが押されたことを拡張アプリに通知できます（この時、エイミーズウィンドウの看護記録画面は表示しません)。

[看護記録連携を使用する]をオンにする方法は P.89「看護記録連携使用の切替」を確認してください。

※本機能を使用する場合は、[拡張アプリ連携を使用する]をオンにしてください（オフのときは動作しません)。

エイミーズ DB マネージャとの連携

エイミーズ DB マネージャとの連携をオンにすることで、「ログイン機能」「投与薬の指定機能」「プリセット機能」を使用できます。
連携機能をオンにするには、コントローラ設定の[データベース連携]をオンにする必要があります。[データベース連携]をオンにする方法は P.80「データベース連携設定の切替」を確認してください。

※エイミーズ DB マネージャとコントローラは USB ケーブルを使用して PC と通信します。モバイルデバイス管理ツール等で管理されている携帯端末で使用される場合、USB によるファイル転送が制限されている場合は、連携することができません。

ログイン機能

ログイン機能をオンにすることで、エイミーズ DB マネージャで登録したユーザでログインすることができます。
ログイン機能オン時には以下の機能が有効となります。
・動作履歴への操作ユーザの記録
・ユーザ権限による操作制限

ログイン機能をオンにする方法は P.81「ログイン機能の切替」を確認してください。
エイミーズ DB マネージャの詳細に関しては、エイミーズ DB マネージャの取扱説明書を確認してください。

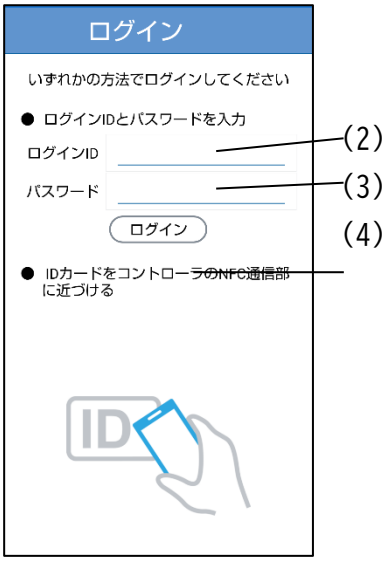
ログイン機能がオンの場合、ドライブユニット画面及び設定画面の下部に現在ログインしているユーザ名が表示されます。

ユーザ名

パスワードを入力してログインする

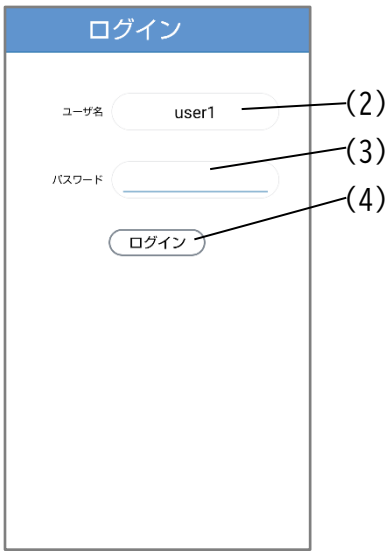
(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。
※ログイン機能がオンの場合、エイミーズウィンドウを起動するとログイン画面が表示されます。設定している[ログイン種別]によって、表示される内容が変わります。

[標準]



(2) ログインするユーザを指定します。
<[ログイン種別]が[標準]の場合>
ログイン ID のテキストボックスをタップし、表示されるキーボードでログイン ID を入力します。
<[ログイン種別]が[簡単]の場合>
ユーザ名をタップし、表示されるリストからユーザを選択します。

[簡単]



(3) パスワードのテキストボックスをタップし、表示されるキーボードでパスワードを入力します。
※ログイン ID 及びパスワードはあらかじめエイミーズ DB マネージャで設定しておく必要があります。
※[ログイン種別]を[簡単]に設定しているときに、パスワードを設定していないユーザを選択した場合は、パスワード入力欄を表示しません。

(4) [ログイン]をタップし、ログインします。
※ログインするとドライブユニット画面が表示されます。
※ログイン ID 及びパスワードが不明な場合は、ユーザ ID「anonymous」パスワード「72208102」として一般権限ユーザとしてログインすることができます。

ID カードを利用してログインする

(1) ID カードを携帯端末の NFC 通信部に近づけ、ログインします。
※ログインするとドライブユニット画面が表示されます。
※ID カード番号をあらかじめエイミーズ DB マネージャで設定しておく必要があります。
※携帯端末の NFC 通信部の場所に関しては、携帯端末の取扱説明書を確認してください。

※携帯端末が NFC に対応していない場合、ID カードを利用したログインはできません。
※おサイフケータイアプリの機能がオンになっている場合、ログイン時におサイフケータイアプリが起動するおそれがあります。P.7 「アプリ機能を無効にする方法」を参照し、おサイフケータイアプリの機能を無効にしてください。
※ID カードを NFC 通信部に近づけた場合は、「この NFC タグをサポートしているアプリはありません」のメッセージが表示される場合があります。

利用者 ID を利用してログインする

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) エイミーズウィンドウを起動すると携帯端末のカメラ画面を表示します。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、カメラ画面は表示されません。

(3) カメラ画面で利用者 ID のバーコードを読み取ります。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、外部バーコードリーダを使用して利用者 ID のバーコードを読み取ってください。

(4) 読み取ったバーコード番号をログイン名とし、一般権限でログインします。
※ログインするとドライブユニット画面を表示します。
※読み取ったバーコード番号が DB マネージャに登録されたログイン ID と一致する場合は、該当のログイン名と権限でログインします。

管理者パスワードでログインする

利用者 ID 入力制限を誤って設定した場合等には、管理者パスワードを使用してログインすることができます。

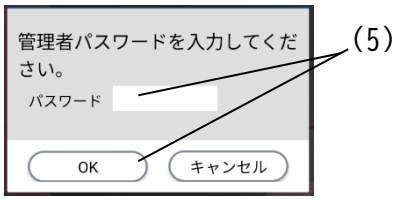
(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) エイミーズウィンドウを起動すると携帯端末のカメラ画面を表示します。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、カメラ画面は表示されません。

(3) [サブメニュー ≡]をタップします。

(4) [利用者 ID を使用しない]をタップします。

(5) 管理者パスワードを入力し、[OK]をタップします。



(6) 一般権限でログインします。
※ログインするとドライブユニット画面を表示します。

ユーザ権限

ユーザには権限を付与することができます。
付与された権限によって、操作可能な範囲を限定することができます。

権限ごとに可能な操作を以下の表に示します。

操作	巡回権限	一般権限	設定切替権限※１	管理者権限
コントローラ設定の変更	― ※５	―	△※２	○
ドライブユニット設定の変更	― ※５	―	△※３	○
新規設定	― ※５	○	○	○
設定変更	― ※５	○	○	○
単回投与	― ※５	○	○	○
その他の操作	○ ※５	○	○	○

○：可　△：一部可　－：不可

操作制限（巡回権限）機能（※４）をオンにしているコントローラでは、どのユーザでログインしても、巡回権限で動作します。
ログイン機能及び操作制限機能を使用しない場合は、自動的に一般権限が付与されます。
※１　設定切替権限の取得方法は P.73「設定切替権限の取得」を確認してください。
※２　詳細は P.75「コントローラ設定」を確認してください。
※３　詳細は P.92「ドライブユニット設定」を確認してください。
※４.詳細は P.88「操作制限（巡回権限）設定の切替」を確認してください。
※５.初期状態の設定です。操作可能な範囲の変更方法は P.88「操作制限（巡回権限）設定の切替」を確認してください。

投与薬の指定

エイミーズDBマネージャで登録した投与薬を輸液設定時に指定することができます。ドライブユニット画面に指定した投与薬が表示されます。また、動作履歴には指定した投与薬が記録されます。投与薬を選択しなければ「----」として表示されます。

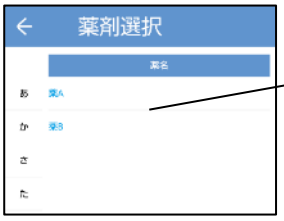
薬リストから選択する

(1) 設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。
※[データベース連携]がオンの場合[投与薬]が表示されます。

(2) [投与薬]をタップし、薬剤選択画面を表示します。

(2)

(3) リストから使用する薬を選びタップし、投与薬情報ダイアログを表示します。
※リストは昇順で表示されます。
※リストが画面に収まらない場合は、フリックしてリストを移動できます。
※左側のインデックス文字「あ～わ」をタップすると選択文字から始まる薬の位置に移動します(選択文字から始まる薬が無い場合は、最寄りの位置に移動します)。



(3)

(4) 投与薬情報ダイアログの内容に間違いが無いことを確認し、[選択する]をタップします。

(4)

(5) [投与薬]ボックスに選択した投与薬が反映されます。
※投与薬を選択しても反映されない場合は、エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。

(5)
(6)

(6) [インフォメーション]をタップすると選択した投与薬情報が表示されます。
※選択した投与薬に薬量と希釈量が設定されていて、流量が設定されている場合は、投与薬情報に加えて、時間当たりの投与量を表示します。

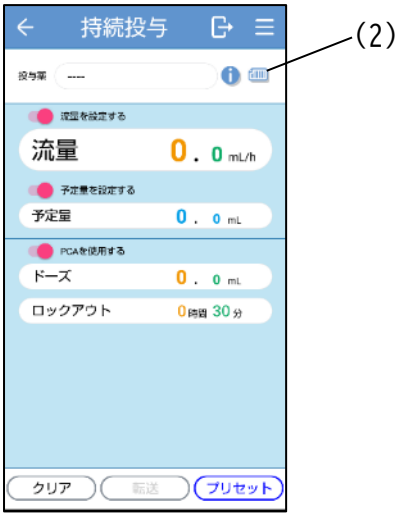
※ドライブユニット画面で、投与薬の［インフォメーション］をタップした場合も同様に、選択した投与薬情報を表示します。

※選択した投与薬に上限流量、下限流量が設定されている場合、持続投与で設定できる流量範囲が制限されます。

バーコードを使用して選択する

(1) 設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。
※[データベース連携]がオンの場合[投与薬]が表示されます。

(2) [ ]をタップすると携帯端末のカメラ画面を表示します。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、カメラ画面は表示されません。



(3) カメラ画面でバーコードを読み取ります。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、外部バーコードリーダを使用して薬のバーコードを読み取ってください。
※バーコード番号はあらかじめエイミーズ DB マネージャで設定しておく必要があります。

(4) [投与薬]ボックスに選択した投与薬が反映されます。

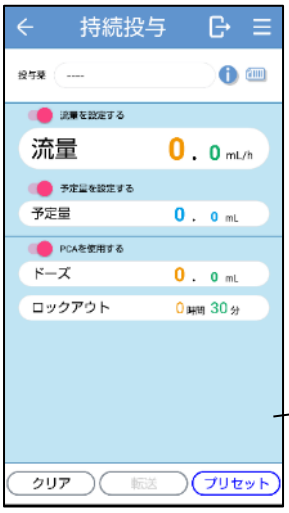
(5) ［インフォメーション］をタップし、選択した投与薬情報が正しいか確認します。

プリセット機能

エイミーズ DB マネージャで登録したプリセットを輸液設定時に読み込むことができます。

プリセットリストから選択する

(1) 設定画面を表示します(P.28「輸液設定を行う」を参照してください)。
※プリセットが登録されている場合に[プリセット]が表示されます。



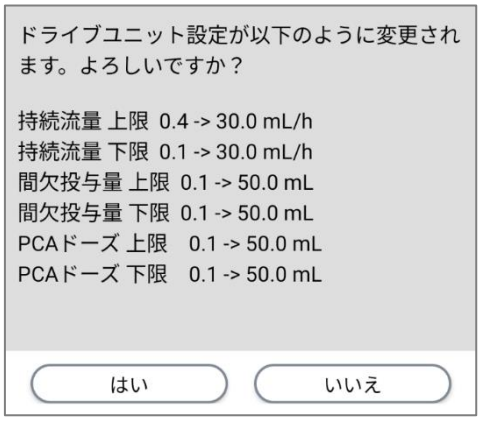
(2)

(2) [プリセット]をタップし、プリセット画面を表示します。
※選択している投与モードのプリセット一覧をプリセット名順に表示します。
※[プリセット]は持続投与及び間欠投与でのみ使用できます。
※登録したプリセットが表示されない場合は、エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。

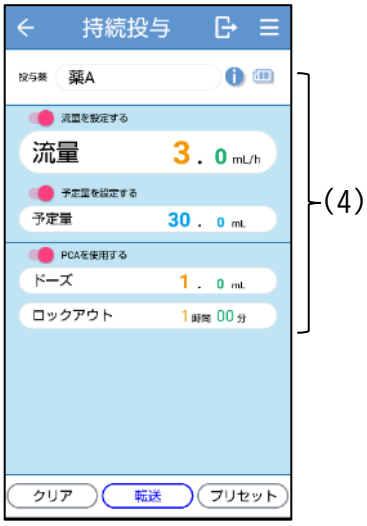
(3) 使用するプリセットをタップします。

(3)

※ドライブユニット設定の変更が必要な場合は右図のようなダイアログを表示します。内容に間違いが無いことを確認し、[はい]をタップすると、ドライブユニット設定を変更します。



(4) 設定画面に戻り、選択したプリセットが反映されます。



バーコードを使用して選択する

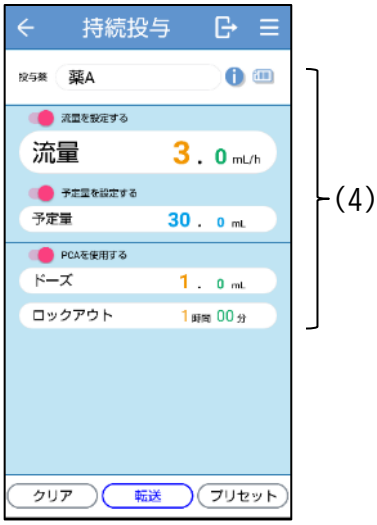
バーコードを使用してプリセットを選択することができます。
[自動プリセットスキャン]をオンにすると、[新規設定]をタップした際にカメラ画面を表示できます。[自動プリセットスキャン]をオンにする方法は P.83[新規設定の切替]を確認してください。

(1) ドライブユニット画面を表示します。

(2) [新規設定]をタップすると携帯端末のカメラ画面を表示します。
※プリセットが登録されていない場合は新規設定画面が表示されます。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、カメラ画面は表示されません。

(3) カメラ画面でプリセットのバーコードを読み取ります。
※読み取ったバーコード番号に該当するプリセットが選択されます。
※バーコード番号はあらかじめエイミーズ DB マネージャで設定しておく必要があります。
※外部バーコードリーダを使用している場合は、外部バーコードリーダを使用してプリセットのバーコードを読み取ってください。

(4) 該当する投与モードの設定画面に戻り、選択したプリセットが反映されます。



※コントローラ設定の[自動プリセットスキャン]がオフの場合にも、プリセット画面の[サブメニュー≡]の[プリセットスキャン]からカメラ画面を開き、バーコードを読み取ることができます。(※)

各種機能の設定切替

設定切替権限の取得

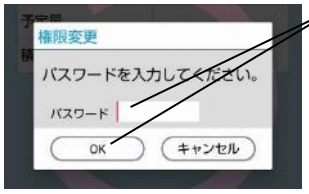
各種機能の設定切替には権限が必要です。
以下に設定切替権限の取得方法に関して記載します。
※管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。
※管理者権限が付与されているユーザでログインしている場合、この操作は不要です。

(1) ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップします。

(1)

(2) サブメニューから[権限変更]をタップします。

(3) パスワードを入力後[OK]をタップし、設定切替権限を取得します（パスワードの初期値は 0205 です）。
設定切替権限は 5 分間、操作がなければ自動的に破棄されます。



(3)

パスワード変更

設定切替権限及び管理者権限のパスワードを変更することができます。

パスワード変更方法

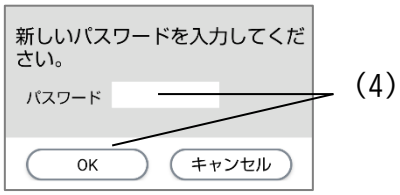
(1) ＜設定切替権限パスワードを変更する場合＞
設定切替可能な権限を取得する(P.73「設定切替権限の取得」を確認してください)。

＜管理者権限パスワードを変更する場合＞
管理者権限を取得する。
※管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。

(2) ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップします。

(3) サブメニューから[パスワード変更]をタップします。

(4) 新しいパスワードを入力後[OK]をタップします。



(5) 確認のため、再度新しいパスワードを入力し、[OK]をタップします。

コントローラ設定

コントローラ設定一覧

設定		説明	初期値	範囲	管理者権限
コントローラ	コントローラ名	コントローラ名を設定する。	8 桁の英数字 ※１	30 文字までの 任意の文字列	
ログイン機能	ログイン機能を使用する	ログイン機能のオン/オフを設定する※２。	オフ	オン/オフ	
	ログイン種別	ログイン種別を設定する。	標準	標準/簡単/利用者 ID	
	利用者 ID 入力制限	利用者 ID の入力制限を設定する。	（空欄）	80 文字までの任意の正規表現	
データベース連携	データベース連携を使用する	データベース連携のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
持続投与	投与時間を使用する	持続投与時に、投与時間を使用する機能のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	○
間欠投与	流量	間欠投与時の流量を設定する。	100.0mL/h	0.5～100.0mL/h	○
	投与間隔種別	間欠投与間隔の種別を設定する。	リセット	リセット/キープ	○
	詳細を設定する	間欠投与の詳細設定のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	○
	PCA をロックアウトする	間欠ボーラス投与時に、PCA をロックアウトする機能のオン/オフを設定する。	オン	オン/オフ	○
単回投与	流量	単回投与時の流量を設定する。	100.0mL/h	0.5～100.0mL/h	○
	PCA をロックアウトする	単回ボーラス投与時に、PCA をロックアウトする機能のオン/オフを設定する。	オン	オン/オフ	○
PCA 設定	流量	PCA　ボーラス投与時の流量を設定する。	100.0mL/h	0.5～100.0mL/h	○
	最大投与回数を使用する	最大投与回数使用のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	○
	ロックアウトを詳細に設定する	ロックアウトタイムを 1 分単位で設定する機能のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	○
薬液交換	薬液交換を使用する	薬液交換機能のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
ペインスケール	ペインスケール種別	ペインスケール種別を設定する。	FPS	FPS: Face Pain Scale NRS: Numerical Rating Scale VAS: Visual Analogue Scale	
有効にする投与モード	持続投与	持続投与のオン/オフを設定する。	オン	オン/オフ	
	間欠投与	間欠投与のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
	プログラム投与	プログラム投与のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	

[管理者権限]に○がある項目の設定切替を行うには、管理者権限が必要です（管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。管理者設定マニュアルは、弊社 Web ページからダウンロードできます）。

※１　出荷状態により異なります。

※２　データベース連携がオンでログインユーザが登録済みの場合、オンに設定できます。

設定		説明	初期値	範囲	管理者権限
新規設定	自動プリセットスキャン	自動プリセットスキャンのオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
バーコードリーダ	種別	バーコードリーダを設定する。 ※外部バーコードリーダはBluetooth で接続する。	内蔵カメラ	内蔵カメラ 外部バーコードリーダ	
	投与薬フォーマット	投与薬バーコードのフォーマットを設定する。	AUTO	AUTO/CODABAR/CODE_39/CODE_93/CODE_128/EAN_8/EAN_13/ITF/RSS_14/UPC_E/QR_CODE/DATA_MATRIX/AZTEC/PDF_417	
	連携 ID フォーマット	連携 ID バーコードのフォーマットを設定する。	CODABAR	AUTO/CODABAR/CODE_39/CODE_93/CODE_128/EAN_8/EAN_13/ITF/RSS_14/UPC_E/QR_CODE/DATA_MATRIX/AZTEC/PDF_417	
	利用者 ID フォーマット	利用者 ID バーコードのフォーマットを設定する。	AUTO	AUTO/CODABAR/CODE_39/CODE_93/CODE_128/EAN_8/EAN_13/ITF/RSS_14/UPC_E/QR_CODE/DATA_MATRIX/AZTEC/PDF_417	
	プリセットフォーマット	プリセットバーコードのフォーマットを設定する。	QR_CODE	AUTO/CODABAR/CODE_39/CODE_93/CODE_128/EAN_8/EAN_13/ITF/RSS_14/UPC_E/QR_CODE/DATA_MATRIX/AZTEC/PDF_417	
	終端文字	バーコードリーダ使用時の終端文字を設定する（外部バーコードリーダ選択時のみ）。	ENTER	ENTER TAB	
輸液完了通知	輸液完了時刻に通知する	輸液完了通知（輸液完了時刻に端末に通知を表示する機能）のオン/オフを設定する。	オン	オン/オフ	
履歴	履歴が上書きされる場合に警告する	履歴上書き警告（古い履歴が上書きされそうになった時警告メッセージを表示する機能）のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
	マークを使用する	マーク履歴のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	

[管理者権限]に〇がある項目の設定切替を行うには、管理者権限が必要です（管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。管理者設定マニュアルは、弊社 Web ページからダウンロードできます）。

設定			説明	初期値	範囲	管理者権限
操作制限（巡回権限）	操作制限を使用する		操作を制限する機能のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
	輸液設定	新規設定	新規設定操作の制限を設定する。	不可	可/不可	
		設定変更	設定変更操作の制限を設定する。	不可	可/不可	
		予定量※	予定量操作の制限を設定する。	不可	可/不可	
		持続流量※	持続流量操作の制限を設定する。	不可	可/不可/減少のみ	
		PCA投与量※	PCA投与量操作の制限を設定する。	不可	可/不可/減少のみ	
		ロックアウト※	ロックアウト操作の制限を設定する。	不可	可/不可/増加のみ	
		PCA最大投与回数※	PCA最大投与回数操作の制限を設定する。	不可	可/不可	
		間欠投与量※	間欠投与量操作の制限を設定する。	不可	可/不可/減少のみ	
		間欠投与間隔※	間欠投与間隔操作の制限を設定する。	不可	可/不可/増加のみ	
		次回ボーラス※	次回ボーラス操作の制限を設定する。	不可	可/不可	
	ドライブユニット操作	単回投与	単回投与操作の制限を設定する。	不可	可/不可	
		単回投与量上限	単回投与量の上限値を設定する。	50.0	0.1～50.0mL	
		開始	開始操作の制限を設定する。	可	可/不可	
		停止	停止操作の制限を設定する。	可	可/不可	
		消音	消音操作の制限を設定する。	可	可/不可	
		プライミング	プライミング操作の制限を設定する。	可	可/不可	
		積算量クリア	積算量クリア操作の制限を設定する。	可	可/不可	
		電源オフ	電源オフ操作の制限を設定する。	可	可/不可	
連携ID	連携IDを使用する		連携 ID 機能のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
拡張アプリ連携	拡張アプリ連携を使用する		拡張アプリ連携機能のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	
	拡張アプリ ID		拡張アプリ ID を設定する。※空欄の場合は、標準拡張アプリと連携する。	（空欄）	任意の文字列	
	看護記録連携を使用する		看護記録連携機能のオン/オフを設定する。	オフ	オン/オフ	

[管理者権限]に○がある項目の設定切替を行うには、管理者権限が必要です（管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。管理者設定マニュアルは、弊社 Web ページからダウンロードできます）。

※[新規設定]又は[設定変更]のいずれかがオンの場合のみ表示されます。

設定		説明	初期値	範囲	管理者権限
プライミング	プライミング時間	プライミングを自動的に停止するまでの時間を設定する。	60 秒	30～120 秒	○
自動スリープ	自動スリープを使用する	自動スリープ機能のオン/オフを設定する。	オン	オン/オフ	
ドライブユニット画面表示	間欠投与量	ドライブユニット画面に表示する項目のオン/オフを設定する。	オン	オン/オフ	
	間欠投与間隔		オン	オン/オフ	
	次回ボーラス		オン	オン/オフ	
	持続流量		オン	オン/オフ	
	予定量		オン	オン/オフ	
	PCA 投与量		オフ	オン/オフ	
	ロックアウト		オフ	オン/オフ	
	最大投与回数		オフ	オン/オフ	
	積算量		オン	オン/オフ	
	薬液残量		オフ	オン/オフ	
	PCA 回数		オン	オン/オフ	
	開始時刻		オフ	オン/オフ	
	終了予定時刻		オフ	オン/オフ	
	閉塞圧レベル		オフ	オン/オフ	

[管理者権限]に○がある項目の設定切替を行うには、管理者権限が必要です（管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。管理者設定マニュアルは、弊社 Web ページからダウンロードできます)。

設定の切替

コントローラ設定を切り替えるための共通操作を説明します。

(1) 設定切替可能な権限を取得する(P.73「設定切替権限の取得」を確認してください)。

(2) ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップします。

(3) サブメニューから[コントローラ設定]をタップし、コントローラ設定画面を表示します。

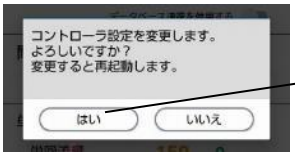
(4) 変更したい項目をタップし変更します。
※現在の権限で変更できない項目をタップすると、変更できない旨のメッセージを表示します。

(2)

(5) [変更を反映する]をタップし、確認ダイアログを表示します。

(5)

(6) [はい]をタップします。
※エイミーズウィンドウが再起動し、再起動後より変更した項目が有効となります。



(6)

コントローラ名の変更

コントローラ名を変更することができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [コントローラ名]のテキストボックスをタップします。
(2) 表示されるキーボードでコントローラ名を変更します。
※コントローラ名は、エイミーズ DB マネージャで動作履歴を確認する際に表示されます。

データベース連携設定の切替

データベース連携設定のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [データベース連携を使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。

データベース連携をオンにすると、エイミーズ DB マネージャで設定した以下の機能を使用できるようになります。

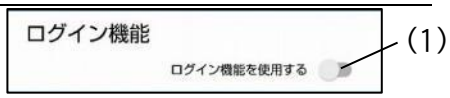
機能	概要
薬剤選択	輸液設定時に薬を選択することができます。詳細は P.68「投与薬の指定」を確認してください。
ユーザ認証	ログイン機能を用いて、使用するユーザを特定することができます。詳細は P.63「ログイン機能」を確認してください。

ログイン機能の切替

ログイン機能のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

ログイン機能を使用する

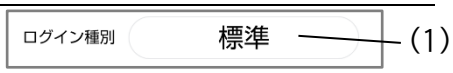
(1) [ログイン機能を使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。



※ログイン機能をオンにすると、エイミーズウィンドウ起動時にログイン画面によるユーザ認証を行います。詳細は P.63「ログイン機能」を確認してください。
※データベース連携がオンでログインユーザが登録済みの場合、オンに設定できます。ログインユーザの登録方法については、エイミーズ DB マネージャの取扱説明書を参照してください。

ログイン種別の切替

(1) [ログイン種別]をタップし、選択します。



※ログイン種別についての詳細は P.63「ログイン機能」を確認してください。

利用者 ID 入力制限の設定

利用者 ID 入力制限を設定することができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [利用者 ID 入力制限]のテキストボックスをタップします。

(2) 表示されるキーボードで正規表現を入力します。
入力例は以下の通りです。

正規表現	制限	読み取り値の例
^[0-9]{8}$	8 桁の半角数字	12345678
^[0-9]{10}A$	10 桁の半角数字+末尾が A	0123443210A
^[a-zA-z]+$	半角英字	abcABC
^[a-zA-z0-9]{8,12}$	8～12 桁の半角英数字	098765abc

薬液交換設定の切替

薬液交換機能のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [薬液交換を使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。

(1)

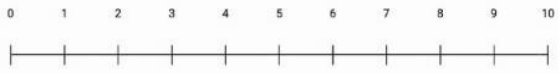
オンにすると、設定変更時の設定画面に［薬液交換］を表示します。
※[薬液交換]は持続投与及び間欠投与でのみ使用できます。
※予定量を設定している場合に表示します。

ペインスケール種別の切替

看護記録を作成する際に使用するペインスケールを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [ペインスケール種別]をタップし、選択します。

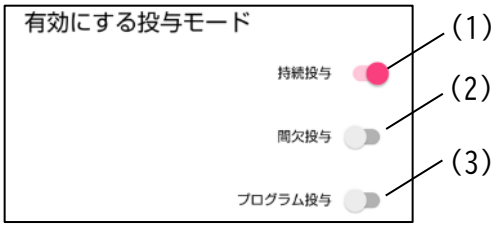
(1)

ペインスケール種別	スケールイメージ
FPS(Face Pain Scale)	
NRS(Numerical Rating Scale)	
VAS(Visual Analogue Scale)	

有効にする投与モードの切替

輸液設定で有効にする投与モードを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [持続投与]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。
(2) [間欠投与]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。
(3) [プログラム投与]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。
※すべての投与モードをオフにすることはできません。



投与モード	概要
持続投与	一定の流量で輸液するモードです。
間欠投与	一定時間ごとにボーラス投与を行うモードです。
プログラム投与	時間を指定し流量をプログラムできる投与モードです。

投与モードの詳細は「クーデックエイミーPCA 取扱説明書」を確認してください。

新規設定の切替

自動プリセットスキャンのオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

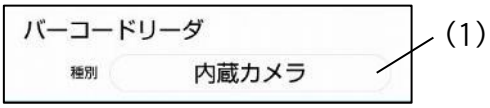
(1) [自動プリセットスキャン]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。
オンにすると、[新規設定]ボタンタップ時にプリセットスキャン画面を開きます。
プリセットスキャンについては、P.70「プリセット機能」を確認してください。
※バーコード番号の設定されたプリセットが 1 つも同期されていない場合にはオンにできません。

バーコードリーダ設定の切替

バーコード読込に使用するバーコードの設定を切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

バーコード種別を変更する

(1) [種別]をタップし、選択します。

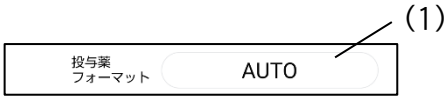


種別	内容
内蔵カメラ	携帯端末の内蔵カメラを用いてバーコードを読み取ります。
外部バーコードリーダ	Bluetooth で接続した外部のバーコードリーダを用いてバーコードを読み取ります。 ※ペアリング及びバーコードリーダの操作方法は、ご使用のバーコードリーダの取扱説明書を確認してください。 ※HID プロファイルで接続してください。

投与薬フォーマット

内蔵カメラで読み取ることができる投与薬バーコードのフォーマットを切り替えることができます。

(1) [投与薬フォーマット]をタップし、選択します。



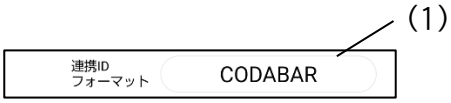
以下のフォーマットに対応します。

CODABAR（NW-7）,CODE_39,CODE_93,CODE_128,EAN_8（JAN-8）,
EAN_13（JAN-13）,ITF,RSS_14（GS1 DataBar 標準型）,UPC_E,QR_CODE,
DATA_MATRIX,AZTEC,PDF_417

※AUTO に設定すると、フォーマットを自動で判別して読み取ります。読み取り間違いを防ぐために、フォーマットを指定することを推奨します。
※ご利用のバーコードが正しく読み込めることを事前に確認してください。

連携 ID フォーマット

内蔵カメラで読み取ることができる連携 ID バーコードのフォーマットを切り替えることができます。



(1) [連携 ID フォーマット]をタップし、選択します。

※選択できる内容は「投与薬フォーマット」と同じです。

※AUTO に設定すると、フォーマットを自動で判別して読み取ります。読み取り間違いを防ぐために、フォーマットを指定することを推奨します。

※AUTO に設定して読み取りを行った場合は、読み取ったバーコードのフォーマットを画面に表示します。

※ご利用のバーコードが正しく読み込めることを事前に確認してください。

利用者 ID フォーマット

内蔵カメラで読み取ることができる利用者 ID バーコードのフォーマットを切り替えることができます。

(1) [利用者 ID フォーマット]をタップし、選択します。

※選択できる内容は「投与薬フォーマット」と同じです。

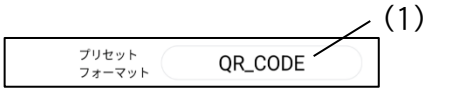
※AUTO に設定すると、フォーマットを自動で判別して読み取ります。読み取り間違いを防ぐために、フォーマットを指定することを推奨します。

※AUTO に設定して読み取りを行った場合は、読み取ったバーコードのフォーマットを画面に表示します。

※ご利用のバーコードが正しく読み込めることを事前に確認してください。

プリセットフォーマット

内蔵カメラで読み取ることができるプリセットバーコードのフォーマットを切り替えることができます。



(1) [プリセットフォーマット]をタップし、選択します。

※選択できる内容は「投与薬フォーマット」と同じです。

※AUTO に設定すると、フォーマットを自動で判別して読み取ります。読み取り間違いを防ぐために、フォーマットを指定することを推奨します。

※AUTO に設定して読み取りを行った場合は、読み取ったバーコードのフォーマットを画面に表示します。

※ご利用のバーコードが正しく読み込めることを事前に確認してください。

バーコードリーダ終端文字の切替

外部バーコードリーダ読込時の終端文字を切り替えることができます。

(1) [終端文字]をタップし、選択します。

終端文字	内容
ENTER	ENTER が入力されるまでの文字を読み込みます。
TAB	TAB が入力されるまでの文字を読み込みます。

この項目は種別で[外部バーコードリーダ]を選択した時のみ表示されます。

輸液完了通知設定の切替

輸液完了通知のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [輸液完了時刻に通知する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。

オンにすると、輸液完了予定時刻に携帯端末のヘッドアップ通知でお知らせします。PCA スイッチ操作や、他のコントローラの操作によって輸液終了時刻が変化した場合は、輸液完了通知の時刻は追従されません。

通知が行われる携帯端末は以下の通りです。

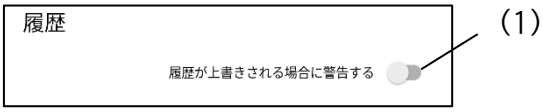
- 輸液の開始操作を行った携帯端末
- 輸液状態を確認した携帯端末

履歴設定の切替

履歴設定のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

履歴上書き警告設定の切替

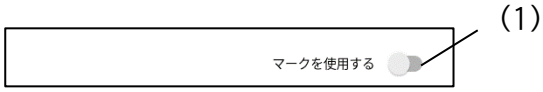
(1) [履歴が上書きされる場合に警告する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。



オンにすると、エイミーズ DB マネージャに同期されていない動作履歴が 40000 件を超えると、エイミーズウィンドウ起動時に警告ダイアログを表示します。

マーク履歴を使用する

(1) [マークを使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。



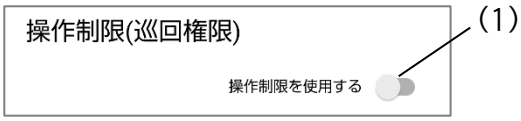
オンにすると、ドライブユニット画面に［マーク記録］［マーク履歴］を表示し、マーク間の投与量及び PCA 回数を表示することができます。
※［マーク記録］［マーク履歴］は持続投与及び間欠投与でのみ使用できます。

操作制限（巡回権限）設定の切替

操作制限（巡回権限）設定を切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

操作制限を使用する

(1) [操作制限を使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。



操作制限をオンにすると、自動的に巡回権限ユーザとして認証しログインします。
ログイン機能に関しては、P.63「ログイン機能」を確認してください。

操作制限の詳細を設定する

(1) 制限する操作の詳細を設定します。ここでの設定は巡回権限ユーザでのログイン時に有効となります。
変更したい制限項目をタップし、設定値を選択します。
制限できる操作と設定値は以下の通りです。

操作	設定値
新規設定、設定変更※１、予定量、最大投与回数、次回ボーラス、単回投与、開始、停止、消音、プライミング、積算量クリア、電源オフ	可/不可
ロックアウト、間欠投与間隔	可/不可/増加のみ
持続流量※２、PCA 投与量、間欠投与量	可/不可/減少のみ
単回投与量 上限※３	0.1～50.0mL

設定値の意味は以下の通りです。

設定値	意味
可	一般権限と同様に操作できます。
不可	操作できません。
増加のみ	すでに設定されている値より減少させることができません。
減少のみ	すでに設定されている値より増加させることができません。

※１　「可」の場合でも、投与薬の変更はできません。
※２　プログラム投与の流量は、操作制限の対象外です。
※３　ドライブユニット設定の「単回投与量（上限）」の設定値の方が小さい場合は、ドライブユニット設定が優先されます。

連携 ID 設定の切替

連携 ID 設定のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [連携 ID を使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。

※連携 ID 機能の詳細は P.61「連携 ID」を確認してください。

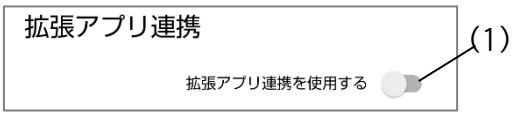
拡張アプリ連携設定の切替

拡張アプリ連携の設定を切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。
※拡張アプリ連携機能の詳細は P.62「拡張アプリ連携」を確認してください。

拡張アプリ連携使用の切替

拡張アプリ連携のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [拡張アプリ連携を使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。



拡張アプリ ID の変更

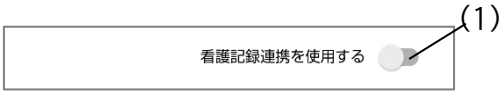
拡張アプリ ID を変更することができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(2) [拡張アプリ ID]のテキストボックスをタップします。
(3) 表示されるキーボードで拡張アプリ ID を変更します。
※拡張アプリ ID が未入力の場合は、標準拡張アプリと連携します。

看護記録連携使用の切替

看護記録連携のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [看護記録連携を使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。



自動スリープの切替

自動スリープ機能のオン/オフを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) [自動スリープを使用する]トグルスイッチをタップし、オン/オフを選択します。

オフにすると、エイミーズウィンドウを自動終了しません（ログイン画面を表示している場合を除く）。

ドライブユニット画面表示

ドライブユニット画面に表示する項目を変更することができます。
※設定切替の共通操作は、P.79「設定の切替」を確認してください。

(1) 変更したい項目をタップし、オン/オフを選択します。

設定に対応する投与モードは、それぞれ以下の通りです。

項目	対応する投与モード		
	持続	間欠	プログラム
間欠投与量	-	○	-
間欠投与間隔	-	○	-
次回ボーラス	-	○	-
持続流量	○	○	○
予定量	○	○	○※
PCA 投与量	○	○	○
ロックアウト	○	○	○
最大投与回数	○	○	○
積算量	○	○	○
薬液残量	○	○	-
PCA 回数	○	○	○
開始時刻	○	○	-
終了予定時刻	○	○	-
閉塞圧レベル	○	○	○

※ドライブユニット画面の「総投与量」の表示に対応します。

ドライブユニット設定

ドライブユニット設定一覧

設定		説明	初期値	範囲	管理者権限
情報	シリアル番号	シリアル番号を表示する。	※1	―	―
	バージョン	ソフトウェアバージョンを表示する。	※1	―	―
	総動作時間	使用開始から現在までの電源オン時間の合計を表示する。	※2	―	―
	総駆動時間	使用開始から現在までのポンプ駆動時間の合計を表示する。	※2	―	―
	総放電時間	使用開始から現在までのバッテリ動作時間の合計を表示する。	※2	―	―
	PCA スイッチ	ペアリングされている PCA スイッチ番号を表示する。	※1	―	―
	ドライブユニット名	ドライブユニット名を表示する。	※1	半角英数字 23 文字まで	
一般	持続投与流量(上限)	持続投与流量の上限値を設定する。	30.0mL/h	0.1～30.0mL/h	○
	持続投与流量(下限)	持続投与流量の下限値を設定する。	0.5mL/h	0.1～30.0mL/h	○
	PCA 投与量(上限)	PCA 投与量の上限値を設定する。	5.0mL	0.1～50.0mL	○
	PCA 投与量(下限)	PCA 投与量の下限値を設定する。	0.1mL	0.1～50.0mL	○
	間欠投与量(上限)	間欠投与量の上限値を設定する。	5.0mL	0.1～50.0mL	○
	間欠投与量(下限)	間欠投与量の下限値を設定する。	0.1mL	0.1～50.0mL	○
	単回投与量(上限)	単回投与量の上限値を設定する。	5.0mL	0.1～50.0mL	○
	単回投与量(下限)	単回投与量の下限値を設定する。	0.1mL	0.1～50.0mL	○
	KVO 流量	KVO が動作している時の持続流量を設定する。 ※0.0mL は KVO 機能オフ。	0.0mL/h	0.0～10.0mL/h	○
	明るさ	各種ランプ及びインジケータの明るさを設定する。	3	（暗い）1～5（明るい）	
	操作音量	操作時の音量を設定する。	中	オフ、小、中、大	
	プライミングの積算量反映	プライミングを積算量に反映するかどうかを設定する。	オン	オン/オフ	

[管理者権限]に○がある項目の設定切替を行うには、管理者権限が必要です（管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。管理者設定マニュアルは、弊社 Web ページからダウンロードできます）。―と表示されている項目は変更できません。

※1　出荷状態により異なります。

※2　動作状態により異なります。

設定		説明	初期値	範囲	管理者権限
警報条件	閉塞圧検出レベル（持続）	持続流量での輸液時の閉塞圧検出レベルを設定する。	M	L、M、H、AUTO	
	閉塞圧検出レベル（ボーラス）	間欠ボーラス投与、PCA ボーラス投与又は単回ボーラス投与時の閉塞圧検出レベルを設定する。	AUTO	L、M、H、AUTO	
	閉塞注意報レベル	閉塞注意報の発生タイミングを設定する。	OFF	OFF、LL、L、M	
	気泡検出レベル	気泡検出レベルを設定する。	M	L、M、H、OFF	
	完了前警報タイミング	完了前警報の発生タイミングを設定する。	2 分	1～60 分	○
	操作忘れ警報発生時間	操作忘れ警報発生時間を設定する。	180 秒	10～300 秒	○
	操作忘れモード	操作忘れ警報の発生条件を設定する。	ポンプ装着又は設定完了	電源オン ポンプ装着又は設定完了 ポンプ装着且つ設定完了	○
	再警報時間	再警報時間を設定する。	120 秒	10～120 秒	○
	完了前注意報	完了前注意報の発生タイミングを設定する。	オフ	オフ 5 分～72 時間	○
警報音	警報音量	警報音量を設定する。 ※警報音量は、周囲環境音に妨げられないように設定してください。	中	微小※３、 小、中、大	
	警報音色(高優先度)	高優先度アラームの音色を設定する。 ※標準音以外に切り替える際は、警報の優先度が判断しづらくなるリスクをご理解の上、設定してください。 ※複数台のドライブユニットを異なる警報音色に設定し、同一場所内で使用した場合も、上記同様のリスクが発生するおそれがあります。	標準音	標準音、音色１～３	○
	警報音色(低優先度)	低優先度アラームの音色を設定する。 ※標準音以外に切り替える際は、警報の優先度が判断しづらくなるリスクをご理解の上、設定してください。 ※複数台のドライブユニットを異なる警報音色に設定し、同一場所内で使用した場合も、上記同様のリスクが発生するおそれがあります。	標準音	標準音、音色１～３	○
	注意報音色	注意報の音色を設定する。	音色１	オフ、音色１～３	○
	音量段階アップ	警報及び注意報の音量を段階的に大きくする時間を設定する。	オフ	オフ、30～600 秒	

[管理者権限]に○がある項目の設定切替を行うには、管理者権限が必要です（管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。管理者設定マニュアルは、弊社 Web ページからダウンロードできます）。

※３　管理者権限のみ設定可能。

※４　管理者設定マニュアルを参照してください。

設定		説明	初期値	範囲	管理者権限
ボイスナビゲーション	ボイスナビ音量	ボイスナビゲーション音量を設定する。	中	オフ、小、中、大	
	ボイスナビ詳細	ボイスナビゲーションの詳細を設定する。	※４	※４	○
おやすみモード	おやすみモード使用	おやすみモードを設定する。	オン	オン/オフ	
	おやすみモード開始時間	おやすみモードの開始時間を設定する。	20:00	0:00～23:59	○
	おやすみモード解除時間	おやすみモードの解除時間を設定する。	7:00	0:00～23:59	○
	おやすみモード明るさ	おすやすみモード時の表示の明るさを設定する。	2	（暗い）1～5（明るい）	○
	おやすみモード警報音量	おやすみモード時の警報音量を設定する。	小	微小、小、中、大	○
	おやすみモード音量段階アップ	おやすみモード時の警報及び注意報の音量を段階的に大きくする時間を設定する。	オフ	オフ、30～600 秒	○
	おやすみモードボイスナビ音量	おやすみモード時のボイスナビゲーション音量を設定する。	オフ	オフ、小、中、大	○
	おやすみモード操作音量	おやすみモード時の操作音量を設定する。	小	オフ、小、中、大	○
メンテナンス	メンテナンスタイマ	メンテナンスタイマを設定する。	オフ	オフ、1～12 ケ月	○

[管理者権限]に○がある項目の設定切替を行うには、管理者権限が必要です（管理者権限の取得方法は管理者設定マニュアルを参照してください。管理者設定マニュアルは、弊社 Web ページからダウンロードできます）。

設定の切替

ドライブユニット設定を切り替えるための共通操作を説明します。

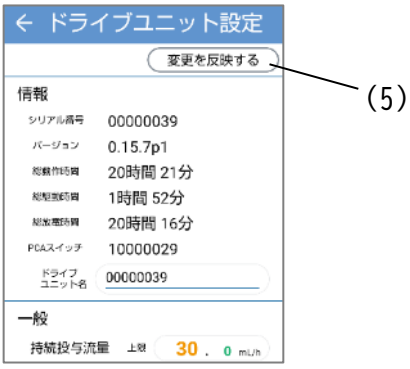
(1) 設定切替可能な権限を取得する(P.73「設定切替権限の取得」を確認してください)。

(2) ドライブユニット画面の[サブメニュー☰]をタップします。

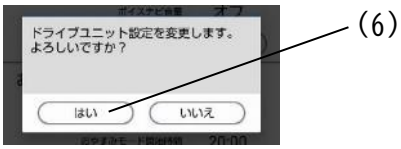
(3) サブメニューから[ドライブユニット設定]をタップし、ドライブユニット設定画面を表示します。

(4) 変更したい項目をタップし、変更します。
※現在の権限で変更できない項目をタップすると、変更できない旨のメッセージを表示します。

(5) [変更を反映する]をタップし、確認ダイアログを表示します。



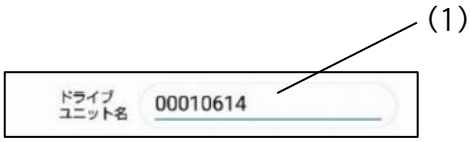
(6) [はい]をタップします。



ドライブユニット名の変更

ドライブユニット名を変更することができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [ドライブユニット名]のテキストボックスをタップします。
(2) 表示されるキーボードでコントローラ名を変更します。
※ドライブユニット名で使用できるのは半角英数字のみです。
※最大文字数は 23 文字です。



明るさの切替

表示の明るさを 1(暗)～5(明)の 5 段階で切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [明るさ]をタップし、数値を選択します。

操作音量の切替

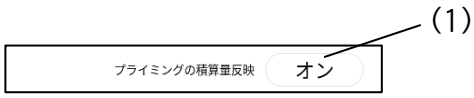
操作音量を小、中、大の 3 段階及びオフに切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [操作音量]をタップし、選択します。

プライミングの積算量反映

プライミングを積算量に反映するかどうかを切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

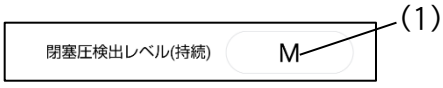
(1) [プライミングの積算量反映]をタップし、選択します。



閉塞圧検出レベル（持続）の切替

持続流量での輸液時の閉塞圧検出レベルを3段階で切り替えることができます。また、AUTOにすると設定流量に応じて閉塞圧検出設定が自動で3段階に切り替わります。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1)［閉塞圧検出レベル（持続）］をタップし、選択します。



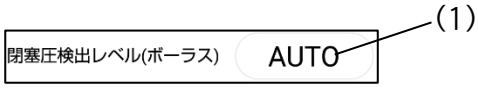
閉塞圧検出レベル	内容
L	40±20kPa
M	70±25kPa
H	110±30kPa
AUTO	流量により自動切替 0.1～4.9mL/h　L：40±20kPa 5.0～49.9mL/h　M：70±25kPa 50.0mL/h～　H：110±30kPa

注意
持続流量での輸液時に閉塞警報が頻繁に発生した場合、閉塞圧検出レベル（持続）を高くする前にまず輸液ラインや、流量を下げる等の設定を見直してください。それでも警報が頻繁に発生する場合は、閉塞圧検出レベル（持続）を現在の設定より高くしてください。

閉塞圧検出レベル（ボーラス）の切替

間欠ボーラス投与、PCAボーラス投与又は単回ボーラス投与時の閉塞圧検出レベルを3段階で切り替えることができます。また、AUTOにすると設定流量に応じて閉塞圧検出設定が自動で3段階に切り替わります。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1)［閉塞圧検出レベル（ボーラス）］をタップし、選択します。



※閉塞を検出する圧力は、閉塞圧検出レベル（持続）と同じです。閉塞圧検出レベル（持続）については、P.97「閉塞圧検出レベル（持続）の切替」を参照してください。

注意
ボーラス投与時に閉塞警報が頻繁に発生した場合、閉塞圧検出レベル（ボーラス）を高くする前にまず輸液ラインや、流量を下げる等の設定を見直してください。それでも警報が頻繁に発生する場合は、閉塞圧検出レベル（ボーラス）を現在の設定より高くしてください。

閉塞注意報レベルの切替

閉塞注意報レベルをオフ又は 3 段階に切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

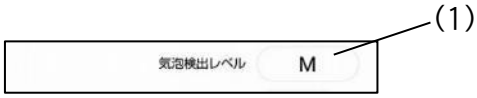
(1) [閉塞注意報レベル]をタップし、選択します。

閉塞注意報レベル	内容
OFF	検出しない
LL	20±15kPa
L	40±20kPa
M	70±25kPa

気泡検出レベルの切替

気泡検出レベルをオフ又は 3 段階に切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [気泡検出レベル]をタップし、選択します。



気泡検出レベル	内容
L	約 400μL～
M	約 200μL～
H	約 75μL～
OFF	検出しない

警報音量の切替

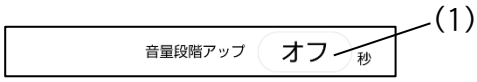
警報音量及び注意報の音量を小、中、大の 3 段階で切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [警報音量]をタップし、選択します。

音量段階アップの切替

音量段階アップ時間を、オフ又は 30～600 秒の範囲で切り替えることができます。
警報又は注意報の発生時、設定した時間が経過するごとに、音量が一段階ずつアップします。
オフに設定した場合、音量は変化しません。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [音量段階アップ]をタップし、選択します。



ボイスナビ音量の切替

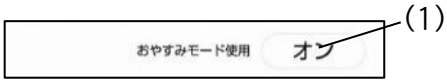
ボイスナビの音量を小、中、大の 3 段階及びオフに切り替えることができます。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [ボイスナビ音量]をタップし、選択します。

おやすみモードの切替

おやすみモードのオン/オフを切り替えることができます。
おやすみモード中はおやすみモードの表示の明るさ、出力音量に切り替わります。
※設定切替の共通操作は、P.95「設定の切替」を確認してください。

(1) [おやすみモード使用]をタップし、選択します。



警報及び注意報が発生した場合

高優先度アラーム

高優先度アラームが発生するとドライブユニットの警報音が鳴り、[警報]ランプとパイロットランプが赤色に点滅し、安全のために輸液は停止します。
以下の手順で警報内容を確認してください。

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) コムタッチをドライブユニットに接続すると、警報ダイアログが表示されます。

(3) 警報内容を確認します。

※警報ダイアログはどの画面を表示していても、最前面に表示されます。
※警報を解除した後は、輸液の再開又は終了等の適切な操作を実行してください。

閉塞警報（輸液ラインが閉塞した時）

輸液ラインが閉塞し、閉塞圧検出レベルを超えています。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。
※ドライブユニットの[消音]ランプが点灯します。
※[消音]ランプ点灯中はその原因が取り除かれなければ、一定時間（工場出荷時設定 2 分）後に再警報が発生します。

(2) 閉塞解放時の過大注入を防止するために輸液ラインを閉じ、閉塞の原因を取り除いてください。

(3) ドライブユニット画面で閉塞が消灯していることを確認してください。

気泡警報（輸液ラインに気泡が混入した時）

輸液ライン内に気泡が混入しているか、バッグの薬液がなくなっています。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。
※ドライブユニットの[消音]ランプが点灯します。
※[消音]ランプ点灯中はその原因が取り除かれなければ、一定時間（工場出荷時設定 2 分）後に再警報が発生します。

(2) 一度輸液ラインを患者から取り外し、プライミングして気泡を取り除き、エイミーMP ユニットを薬液で満たしてください(P.29「プライミングする」を参照してください)。
※バッグの薬液がなくなっている場合は、エイミーMP ユニットを交換してください。

(3) ドライブユニット画面で気泡が消灯していることを確認してください。

注意

気泡検出レベルを OFF に設定している場合は、気泡が混入しても気泡警報が発生しません。チューブを定期的に確認し、気泡を除去してください。
また、バッグが空になっても気泡警報が発生しません。定期的に輸液状態(薬液の減り具合)を確認してください。

完了警報（積算量が予定量に到達した時）

積算量が予定量に達しています。KVO(キープベインオープン)流量が設定されている場合、輸液は KVO 流量で継続しています。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。
※ドライブユニットの[消音]ランプが点灯します。
※[消音]ランプ点灯中はその原因が取り除かれなければ、一定時間（工場出荷時設定 2 分）後に再警報が発生します。

(2) KVO 流量が設定されている場合は、輸液を停止させてください(P.30「輸液を停止する」を参照してください)。

(3) 輸液を継続する場合は、積算量をクリアするか、設

定変更で予定量を追加してください(P.30「積算量をクリアする」、P.32「輸液の設定を変更する」を参照してください)。
ドライブユニット画面の完了インジケーターの消灯後、輸液を再開できます。

ポンプ異常警報（ポンプに異常が発生した時）

ポンプユニットに何らかの異常が発生しています。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。

(2) ポンプの接続を確認してください。又はエイミーMPユニットを交換してください。

※異常の原因は以下の要因となります。
・ポンプユニットの故障
・ポンプユニットの接続異常
・ポンプユニットへの出力異常

シャットダウン警報（バッテリ残量がなくなった時）

バッテリの残量がありません。

(1) ドライブユニットをエイミーズホームで充電してください。
※充電が開始されるまで警報は消音できません。
※充電しない場合約 3 分後に電源をオフにします。
※[電源オフ]をタップすると、ドライブユニットの電源をオフにし、輸液設定をクリアします。
※シャットダウン警報中に充電を開始した場合は、シャットダウン警報発生前の状態に戻ります。

(2) [OK]をタップし、ダイアログを消します。

(3) ドライブユニット画面でバッテリが消灯していることを確認してください。

(4) ドライブユニットを交換する場合は、輸液設定を新しいドライブユニットにコピーできます（P.58「他のドライブユニットに輸液設定をコピーする」を参照してください)。
※輸液に関する履歴（PCA の操作履歴、積算量等）はコピーされません。

低優先度アラーム

低優先度アラームが発生するとドライブユニットの警報音がなり、[警報]ランプとパイロットランプが橙色に点灯します。輸液は継続します。
以下の手順で警報内容を確認してください。

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) コムタッチをドライブユニットに接続すると、警報ダイアログが表示されます。

(3) 警報内容を確認します。

※警報ダイアログはどの画面を表示していても、最前面に表示されます。
※高優先度アラーム中は、低優先度アラームが発生しません。
※低優先度アラーム中に高優先度アラームが発生した場合は高優先度アラームが優先されます。

操作忘れ警報（一定時間操作していない時）

一定時間（工場出荷時設定 3 分）操作していません。
エイミーMP ユニットが装着された状態、もしくは輸液の設定が完了している状態(工場出荷時設定)で発生します。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。

(2) ボイスナビゲーションで案内しますので、設定を確認して輸液を開始してください。

(3) 輸液を開始しない場合は、スタンバイモードにしてください(P.31「スタンバイモードにする」を参照してください)。
※スタンバイモード時は輸液開始忘れに注意してください。

完了前警報（プログラム投与の際、輸液完了が近付いた時）

プログラム投与の完了が近付いています。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。
※ドライブユニットの[消音]ランプが点灯します。
※[消音]ランプ点灯中はその原因が取り除かれなければ、一定時間（工場出荷時設定 2 分）後に再警報が発生します。

(2) 継続する場合は薬液の準備を行ってください。

ポンプロック検出警報（輸液中に[ロック]レバーのロックが解除された時）

[ロック]レバーのロックが解除されました。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。
※ドライブユニットの[消音]ランプが点灯します。
※[消音]ランプ点灯中はその原因が取り除かれなければ、一定時間（工場出荷時設定 2 分）後に再警報が発生します。

(2) [ロック]レバーを押し、ポンプをロックしてください。

(3) ドライブユニット画面でロックが消灯していることを確認してください。

バッテリ残量警報（バッテリ残量が少なくなってきた時）

バッテリ残量が 30 分未満です。

(1) [消音]をタップし、警報音を止めてください。
※ドライブユニットの[消音]ランプが点灯します。
※[消音]ランプ点灯中はその原因が取り除かれなければ、一定時間（工場出荷時設定 2 分）後に再警報が発生します。

(2) エイミーズホームで充電してください。

(3) ドライブユニット画面でバッテリが消灯していることを確認してください。

(4) ドライブユニットを交換する場合は、輸液設定を新しいドライブユニットにコピーできます（P.58「他のドライブユニットに輸液設定をコピーする」を参照してください）。
※輸液に関する履歴（PCA の操作履歴、積算量等）はコピーできません。

注意報

注意報が発生するとドライブユニットの注意報音がなり、パイロットランプが橙色に点灯します。輸液は継続します。
以下の手順で注意報の内容を確認してください。

(1) エイミーズウィンドウを起動します(P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照してください)。

(2) コムタッチをドライブユニットに接続すると、注意報ダイアログが表示されます。

(3) 注意報の内容を確認します。

※注意報ダイアログはどの画面を表示していても、最前面に表示されます。
※高優先度アラーム中は、注意報が発生しません。
※注意報発生中に警報が発生した場合は警報が優先されます。

完了前注意報（予定量の輸液完了が近付いた時）

予定量の輸液の完了が近付いています。

(1) [消音]をタップし、注意報音を止めてください。

(2) 継続する場合は薬液の準備を行ってください。

閉塞注意報（輸液ラインの内圧が上がっている時）

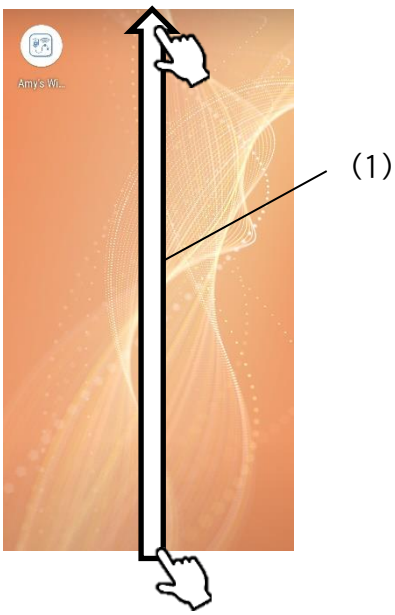
輸液ラインの内圧が上がり、閉塞注意報レベルを超えています。

(1) [消音]をタップし、注意報音を止めてください。
(2) 吐出流量が低下する、もしくは投与が停止する恐れがあります。閉塞の原因を取り除いてください。
(3) ドライブユニット画面で閉塞が消灯していることを確認してください。

アンインストール

エイミーズウィンドウをアンインストールします。
※携帯端末により、表示及び操作が異なる場合があります。

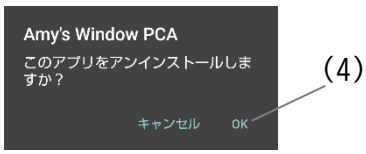
(1) 画面を下から上に大きくスワイプし、アプリ一覧画面を表示します。



(2) [Amy's Window]を長押しします。

(3) [Amy's Window]を[アンインストール]にドラッグ＆ドロップします。

(4) ダイアログを確認し、[OK]をタップします。



トラブルシューティング

警報及びトラブルが発生した場合、以下の原因が考えられますので、各々の対処方法に従ってください。「クーデックエイミーPCA 取扱説明書」も併せて確認してください。
それでも異常が解決されない場合は、弊社担当者まで連絡してください。

キーワード	現象	原因	対処方法
ドライブユニットと通信できない。	「ドライブユニットとの通信に失敗しました」とダイアログが表示される。	ドライブユニットにコムタッチが正しく接続されていません。	ドライブユニットから一度コムタッチを離し、再度接続してください。
	携帯端末の電池残量不足のため、USB ホスト機能が使用できない旨のダイアログが表示される。	携帯端末の電池残量が不足しています。	携帯端末を充電してください。
	「対応していないドライブユニットです。使用機器の組み合わせを確認してください。」と表示される。	古いバージョンのエイミーズウィンドウを使用しています。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
		互換性のないドライブユニットに接続しています。	機種タイプの異なるドライブユニットに接続して使用することはできません。 エイミーズウィンドウに対応したドライブユニットに接続して使用してください。
輸液が開始されない。	プログラム投与が定刻に開始しない。	携帯端末の時刻がずれています。	携帯端末の時刻を正しく設定してください。
選択できない。	持続投与しか投与モードが選択できない。	間欠投与、プログラム投与がオフになっています。	コントローラ設定で使用したい投与モードをオンにしてください。

キーワード	現象	原因	対処方法
選択できない。	投与薬が選択できない。	[データベース連携]がオフになっています。	コントローラ設定で[データベース連携]をオンにしてください。
	投与薬を選択しても反映されない。	古いバージョンのエイミーズウィンドウを使用しています。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
	[マーク記録][マーク履歴]ボタンが表示されない。	[マークを使用する]がオフになっています。	コントローラ設定で[マークを使用する]をオンにしてください。
		古いバージョンのエイミーズウィンドウを使用しています。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
		古いバージョンのドライブユニットを使用しています。	ドライブユニットを最新バージョンに更新してください。更新については、弊社担当者までお問い合わせください。
	登録したプリセットがプリセット画面に表示されない。	古いバージョンのエイミーズウィンドウを使用しています。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
	コントローラ設定に表示されない項目がある。	古いバージョンのエイミーズウィンドウを使用しています。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
	ドライブユニット設定に表示されない項目がある。	古いバージョンのドライブユニットを使用しています。	ドライブユニットを最新バージョンに更新してください。更新については、弊社担当者までお問い合わせください。
		古いバージョンのエイミーズウィンドウを使用しています。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。

キーワード	現象	原因	対処方法
エイミーズウィンドウを操作できない。	エイミーズウィンドウを起動してもすぐに終了する。	何らかの要因でエイミーズウィンドウ内のデータが破壊されています。	一度エイミーズウィンドウをアンインストールし、再度インストールしてください。
	投与薬を選択しても、設定画面に反映されない。	新しいバージョンのエイミーズDBマネージャで作成した投与薬は、古いバージョンのエイミーズウィンドウで使用できない場合があります。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
	登録した標準設定が読み込めない。	新しいバージョンのエイミーズDBマネージャで作成した標準設定は、古いバージョンのエイミーズウィンドウで読み込めない場合があります。	エイミーズウィンドウを最新バージョンに更新してください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。
	ログイン画面が表示される。	ログイン機能がオンになっています。	ユーザ ID「anonymous」パスワード「72208102」として一般権限ユーザでログインしてください。ログイン機能をオフにする場合は、P.81「ログイン機能の切替」を参照してください。

キーワード	現象	原因	対処方法
エイミーズウィンドウを操作できない。	「ストレージ容量が不足しているため、起動できません。」と表示される。	携帯端末のストレージ容量が不足しています。	携帯端末の不要データを削除し、ストレージ容量を確保してください。
	「対応してない OS バージョンです。」と表示される。	Android バージョンに対応していません。	P.6「動作環境」を満たす携帯端末を使用してください。
	「データベース同期が不完全な可能性があります。」と表示される。	エイミーズ DB マネージャとのデータ同期が不完全な状態になっています。	エイミーズ DB マネージャと同期を行ってください。
	「データベースの異常を検出しました。…」と表示される。	データベースの異常が発生しています。	P.106「アンインストール」を参照し、エイミーズウィンドウをアンインストールしたのちに、再度 P.12「エイミーズウィンドウのダウンロードとインストール」を参照し、インストールを実施してください。
	エイミーズウィンドウがフリーズする。	何らかの原因でエイミーズウィンドウが不正な状態になっています。	エイミーズウィンドウを終了させ、再度起動してください。 改善しない場合は、携帯端末を再起動させてください。

キーワード	現象	原因	対処方法
エイミーズウィンドウを操作できない。	「ドライブユニットと通信を行うために、一度通信モジュール(コムタッチ)をコントローラ（携帯端末)から抜き、再度挿入してください。」と表示される。	コムタッチの使用権が取得できていません。	コムタッチを一度携帯端末から取り外し、再度接続してください。
	起動時に「動作に必要な権限が取得できません。設定アプリで権限を有効にしてください。」と表示される。	エイミーズウィンドウを使用するために必要な権限が与えられていません。	携帯端末の設定アプリから、エイミーズウィンドウに、カメラとストレージへのアクセス権限を与えてください。
	「携帯端末の時刻が正しくありません。設定アプリで携帯端末に正しい時刻を設定してください。」と表示される。	携帯端末の時刻がずれています。	携帯端末の時刻を正しく設定してください。ご使用状況によっては携帯端末の時刻がずれることがあります。詳細については P.7「注意」を参照してください。
	キーボードが表示されない。	外部バーコードリーダ等と接続されています。	Bluetooth 機能をオフにしてください。Bluetooth 機能をオフにする方法については、携帯端末の取扱説明書を確認してください。
	コムタッチ使用の許可操作を、何度も要求される。	携帯端末に、エイミーズウィンドウ PCA 以外のエイミーズウィンドウがインストールされています。	コムタッチ使用の許可操作を行ってください。詳細については P.12「エイミーズウィンドウのダウンロードとインストール」を参照してください。 ※１台の携帯端末に、機種タイプの異なるエイミーズウィンドウがインストールされている場合、Android OS の仕様により、このような操作が必要となります。

キーワード	現象	原因	対処方法
ログインできない。	ユーザ ID、パスワードでログインできない。	ユーザ管理の内容とユーザ ID、パスワードが一致していません。	エイミーズ DB マネージャを用いて、ユーザ管理画面でユーザ ID、パスワードを確認してください。
	ID カードでログインできない。	ユーザ管理の内容と NFC 番号が一致していません。	エイミーズ DB マネージャを用いて、ユーザ管理画面で NFC 番号を確認してください。
		携帯端末が NFC に対応していない。	NFC に対応した携帯端末を使用してください。
		ID カードの種類に対応していない。	以下のいずれかの種類を使用してください。 ・Mifare 1K(ID:4Byte 又は 7Byte) ・Mifare Ultra Lite ・Felica Standard ・Felica Lite-S
	利用者 ID でログインできない	バーコードが[利用者 ID 入力制限]の範囲外です。	コントローラ設定の[利用者 ID 入力制限]範囲内のバーコードを読み取ってください。
		[利用者 ID 入力制限]が間違っています。	P.65「利用者 ID を利用してログインする」でサブメニューからログインし、再度[利用者 ID 入力制限]を設定してください。設定方法は、P.81「利用者 ID 入力制限の設定」を参照してください。
エイミーズ DB マネージャと連携できない。	「古いエイミーズ DB マネージャで同期されました。」と表示される。	古いバージョンのエイミーズ DB マネージャを使用してマスタデータベース同期が行われています。	エイミーズ DB マネージャを最新バージョンに更新してから、マスタデータベース同期を行ってください。最新バージョンのソフトウェアの入手方法については、P.5「最新ソフトウェアの入手方法」を参照してください。

キーワード	現象	原因	対処方法
表示されない履歴がある。	設定中の輸液の一部の履歴が確認できない（[輸液チャート][ボーラス履歴][マーク履歴]）。	PCA スイッチ操作が頻繁に行われています。	ドライブユニットに保存できる履歴数の上限は 1000 件です。保存数の上限に達する前に[動作履歴の保存]を行い、ドライブユニットの動作履歴をコントローラに保存してください。
		ドライブユニットがエイミーズホームに正しく置かれていないため、「充電駆動」「バッテリ駆動」のイベントが大量に記録されている。	ドライブユニットがエイミーズホームに収まるように置いてください。この時[電源] ランプと [バッテリ残量] ランプが点灯することを確認してください。
	表示されない履歴がある（[履歴確認]）。	ドライブユニットの動作履歴がコントローラに保存されていません。	[動作履歴の保存]を行い、ドライブユニットの動作履歴をコントローラに保存してください。
		動作履歴が絞り込まれて表示されています。	履歴確認画面で[クリア]後、[更新]を行い、絞り込みを解除してください。
	動作履歴の時刻が合わない。	携帯端末の時刻がずれています。	携帯端末の時刻を正しく設定してください。ご使用状況によっては携帯端末の時刻がずれることがあります。詳細については P.7「注意」を参照してください。
設定切替	設定切替が行えない。	権限が取得できていません。	P.73「設定切替権限の取得」設定切替権限を取得してください。

キーワード	現象	原因	対処方法
ドライブユニット画面	ドライブユニットの情報が正しく表示されない。	ドライブユニットの情報を正常に読込みできていない可能性があります。	一度ドライブユニットからコムタッチを取り外してから再接続してください。ドライブユニットの読込みが完了（「ピピッ」と鳴ります）した後に、ドライブユニット画面を確認してください。
	ドライブユニットのバッテリ残量表示が100％になっているのに、ドライブユニットの[電源]ランプが黄色(充電中)に点灯する。	ドライブユニット充電中は、バッテリ残量表示が 100％になっても、しばらくの間ドライブユニットの[電源]ランプが黄色(充電中)に点灯します。	そのまま充電を続けると、ドライブユニットの[電源]ランプが緑色（満充電）に点灯します。
バーコードを読み取れない	携帯端末のカメラでバーコードを読み取れない	内蔵カメラの性能が不足しています。	バーコードのフォーマット設定を AUTO にしている場合は、フォーマットを指定してください。 フォーマットを指定しても読み取れない場合は、外部バーコードリーダを利用してください。
		対応していないフォーマットのバーコードです。	外部バーコードリーダを利用してください。
エイミーズウィンドウをワンタッチで表示できない。	コムタッチをドライブユニットに接続しても、エイミーズウィンドウの画面が表示されない、又はヘッドアップ通知が表示されない。	携帯端末に、エイミーズウィンドウ PCA 以外のエイミーズウィンドウがインストールされています。	P.23「エイミーズウィンドウを起動する」を参照し、エイミーズウィンドウを起動してください。 ※１台の携帯端末に、機種タイプの異なるエイミーズウィンドウがインストールされている場合、Android OS の仕様により、このような操作が必要となります。

- 「おサイフケータイ」は、株式会社 NTT ドコモの商標又は登録商標です。
- Android は Google LLC の商標です。
- Bluetooth は米国 Bluetooth SIG,Inc.の商標又は登録商標です。
- FeliCa は、ソニーグループ株式会社又はその関連会社の商標又は登録商標です。
- MIFARE は、NXP セミコンダクターズの商標又は登録商標です。
- Windows は、Microsoft Corporation の商標又は登録商標です。
- クーデック、COOPDECH、エイミー、Amy、、、Amy、Amy's Window は大研医器株式会社の登録商標です。

製造販売業者

大研医器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-6-2

2505C <08604512-J12>